

平成29年度 会報

学芸



CONTENTS

- 会報『学芸』第22号
発刊にあたり
会長 米田耕作 2
- ご挨拶
理事長 岡本利雄 3
- 日本人の智恵
高等学校 校長 佐藤精治 4
- 平成29年度PTA活動計画
PTA会長 松田真也 4
- 大阪学芸高等学校・付属中学校
募集対策部報告 5
- 大阪学芸中等教育学校だより
校長 柴田俊次 6
- 大阪学芸中等教育学校報告 7
- 大阪学芸高校女子バレー部 7
- 附属中学校
女子バレー部ご紹介 8
- 108期生同窓会 8
- 故和田貞夫先輩を偲んで
名誉会長 仲西 晃 9
- 「継続は力なり—落語と私—」
顧問 猪瀬正雄 10
- 活動報告 11
- 行事報告 12
- 同窓会入会式 15
- 卒業生の近況報告 16
- 教職員OB OGの近況報告 17
- 現職の先生より 17
- 現職教職員の近況報告 17
- 平成28・29年度役員名簿 17
- クラブ活動報告 18
- 昭和41年卒業3年D組同窓会
西川弘史 19
- 故和田貞夫先輩の経歴 20
- 年会費等納入のお願い 21
- あとがき 22
- 平成29年度行事予定
平成30年総会及び
懇親会のご案内 23
- 平成28年度 決算報告 23

第22号
2017



大阪学芸高等学校同窓会
(成器会)

発行所：〒558-0003 大阪市住吉区長居1丁目14-15
TEL06(6693)6301 FAX06(6693)5173
URL <http://www.gakugei-seikikai.jp>

会報 第22号発刊にあたり



大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

会長 米田耕作

会頭の皆様におかれましては、益々、
清祥のこととお慶び申し上げます。
そして同窓会の運営に於し、種々格別
なご高配を賜りまして厚くお礼申し上
げます。

私は昨年6月11日(土)の総会で、仲西

前会長より推薦され、第7代会長になり
ました昭和39年卒業の米田耕作と申しま
す。何卒よろしくお願ひ致します。

永らく副会長として、お手伝いする気
持ちから中心となりやうねばと、慌てふ
ためいております。同窓会の主なる仕事
として、年に10回程の役員会と8月最初
の土日(1泊2日)高野山普賢院と慰靈碑
参拝です。メインになるのは6月(第二
土)の定期総会及び懇親会(道頓堀ホテ
ル)と11月(第一土)の秋季懇親会(ユーミ
ュンヘン)であり、絶対に外せないのが年
回発行(7月1日)する会報誌であります。
同窓会が出来たのは今から43年前で、
新会員を迎えるのです。

当時はカリ版刷りで橋本先生が作られた
新聞でした。故伊丹初代会長の「苦労が
偲ばれます。この様な会報誌になったのは、故井内四代会長からで新たな苦労が
始まります。今年の22号誌はどうでしょ
うか。

役員の改選があれば行うのが、同窓会
新役員歓迎会で、昨年の9月3日(土)夕刻
に、天王寺都ホテルで行いました。今年1
月21日(土)に、新年互礼会を同ホテルで
行ない、会報誌の隅に載せようかと思つて
います。2月21日(火)午前11時から、本校
体育館にて新幹事の委嘱状授与式があり
ました。同窓会から私と5名の役員が出席し、48名の新幹事の中から田原悠さん
が常任副幹事に選ばれました。翌日22日
(水)同体育館にて、第112回大阪学芸
高校の卒業式が挙行され656名が卒立
つて行きました。同窓会側としては多くの
名多い81名で合せて743名となりま
す。余りに多いので、午前と午後の二部制
で行ない、吹奏楽部の演奏と「ララス部の
歌も一度聴けて幸せでした。新入生とそ
の家族もこの見事な演出に酔いしれ、主役
達の瞳は夢と希望で桜に負けじと光り輝
いていました。

さて、会頭の皆様方に二つの訃報があり
ます。一つは足立好一副会长(昭24年卒)
が昨年6月6日(月)に亡くなられ、故人
の「遺志で家族葬を當されました。近く
に住む卒業生から後日学校に連絡があ
り、その事が判つたのです。6月29日(水)
午後4時頃に済上學園顧問と岡本理事長
と中谷事務局長そして私の4名が、自宅
に弔問させて頂きました。故人は足立
硝子株式会社の会長をされ、本学園の理事
事長職を8年と副会長職を都合15年なさ
れました。もう一つは永年同窓会を代表
した、和田貞夫第5代同窓会長(名誉会長、
昭19年卒)が同年の12月18日に亡くなられ
ました。やはり家族葬でしたが「故和田
貞夫を偲ぶ会」をホテルアパートリージュ
ンシー堺で、平成29年5月20日(土)午前
11時30分より行われます。思い起させ
ば昨年6月21日(火)午後1時20分頃、顧問
の山本英雄先生と堺区甲斐町にある中小
企業経営センターへ、新任の「接拶に参り
ました。名誉会長(当理事)は体力が少し
弱く、声も小さく感じましたが、「米田君、
会長と書くのはなア、嫌われないと駄目だ
ぞ」と言われ、「はい! 良く判りまし
た!」と答える私で、それが最後に交わし
たお言葉となりました。大阪府議会議員
に三期、衆議院議員に四期当選され、細川
内閣の通産政務次官に就任されました。
その他多くの役職に就かれ、最後は当セン
ターの理事長として92歳迄君臨、仕事を
全うされました。

成器商業学校を卒業され、大学進学も
せずこの迄頑張られた方は、唯無一の
方しかおられません。今回は第22号会報
の表紙と特集に載せており、追悼の意を
表したいと存じます。そして故足立副会长
(元理事長)は、どうかで配慮させて頂
きたいと思います。

あらためまして

偉大なる西先輩に

合掌!!

ご挨拶



学校法人大阪学芸
理事長

岡本利雄

1.はじめに

卒業生の皆様には、平素より母校への多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は今年で創立114周年を迎えます。「世紀を超えて発展を続けていることは、大変喜ばしく、これも偏に卒業生の皆様を始め、すべての学園関係者のご理解ご協力の賜物と、深く感謝申し上げま

す。現在、生徒数は大阪学芸高等学校1,893名、高等学校附属中学校156名、姉妹校の大坂学芸中等教育学校537名、学園生徒総数は2,586名を数えます(5/1現在)。教職員の総数も200名を超えており、校舎は活気に満ち溢れています。少子化が下げ止まりを見せない中で、本学園は理想の教育を目指して常に教育環境の向上に努め、「大阪学芸で学びたい」という生徒や保護者の支持を得て参りました。最近は卒業生の子弟や孫、在校生の弟妹生徒の入学も多く見られます。世代を繋いだ「学芸アミリー」が増えることは、学園のブランド力向上に大きく寄与するものと考えます。

2.10年7ヶ月間を振り返って

さて、平成19年9月より理事長の席を

1. 学校教育を通じて、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。
2. 生徒が、何歳(いくつ)になつても誇りを持て語れる学園を創ります。
3. 教職員が、生徒の満足を自らの喜びにできる学園を創ります。

以上の三つの行動理念を軸に、「学問を通じて豊かな人間性をはぐくみ、社会に

お預かりして参りましたが、本年度が理事長としての最終年度となります。10年7ヶ月に亘り、理事長の重責を担うことが出来ましたのは、偏に学園関係者の皆様の温かいご支援があつたことと、深く想いを致しております。就任当时、本学園は大変な逆風の中にあり、困難に満ちたスタートであります。理事長として、まず取り組んだことは学園「行動理念」の制定です。教職員が誇りとやりがいを持って働く為には、常に座右に置き、日常の教育活動の指針となる行動規範が必要ではないか。こうした思いは、長年企業経営に携わってきた私自身の体得した信念でもあります。学園の「永続発展」とは何か。もちろんそれは本学園で学ぶすべての生徒に優れた全人教育を行うこと、その當務を弛むことなく継続することと達成されると考えますが、それには学園が「社会の中でどのような役割を果たすのか」との大きな視座をもつて、「我々は何のために教育活動を行うのか」を問い合わせることが必要ではないかと考えました。こうした考え方のもと諮問委員会を設置し、建学の精神まで立ち返つて議論を深めました。これまであまり意識してこなかった「地域・社会」という視点も取り入れた上で、平成20年に制定されたのが学園の「行動理念」です。(こ)で改めて紹介させて戴きます。

3.次代に向けたメッセージ

本年度初めの教職員歓送迎会の挨拶で、次のよき話をさせて戴きました。「ペンギンの嘴には歯がなく、毛が密集しているだけですが、『喉えられた魚は逃れることができません。それはなぜでしょうか。一本の毛は弱くとも、すべての毛が内側に向いて生え揃っているからです。バラではなく同じ方向に向かつて結集すれば力は強くなります。』」この「ペンギンの嘴」の『毛の方向』に当たるのが「行動理念」です。本学園は宗教法人や企業や大学などのいづれの系列にも属さず、自主・自立を基本に成り立っている学園です。その意味において、私が理事長就任以来、貫して訴え続けて来たことは、「学園としての

精神のもと、教育内容の充実に努めて参りました。上記の「行動理念」や「建学の精神」には、自由闊達な風土でこそ育まれる「進取の気性」時代や社会の変化に柔軟に対応する「自己革新の精神」、そして生徒が伸びやかで活き活きとした学校生活を送ることで、バランスの取れた人格形成を図る「德器成就」の精神などが投影されています。

貢献できる青年を育成する」との建学の精神のもと、教育内容の充実に努めて参りました。昭和46年(1971)に、校地購入に端を発する事件、いわゆる「泉北問題」が発生し、本学園は、まさに「存亡の瀬」に立たされました。心ある学園関係者は献身的に事態の収拾に当たり、その甲斐あって、本学園は再生に向けて再び舵を切ることが叶いました。

4.むすび

当時の私は父親の長期入院により、家業を継ぐため、高校教員から転じて企業経営の第歩を踏み出した時期でしたが、学園存続の危機に際し、再建の中心的存続にあつた恩師からお声が掛かったことを契機に、愛する母校のお役に立ちたいと決意し、昭和48年、未だ28歳の若輩ではありましたが、評議員をお引き受けしました。以来、学園の復活、そして発展の助となりべく、微力ながら務めて参りました。昭和61年からは理事として学園経営に参画し、監事の期間も含めて32年の永きに亘り、本学園の役員を務めさせて戴きました。(この間、さまざまに出来事がありました)が、困難な時でも、その都度、学園関係者が歓喜を結集し、一丸となつて行動し克服して参りましたことは、私自身の人生にとっても大きな財産となっていました。

残り任期は1年を切りましたが、在任中はこれまでと変わらず、全力を尽くして任務を全うする所存です。卒業生の皆様には、これまでの多大なるご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後とも本学園の教育活動に温かいご支援を賜りますことを切にお願い申し上げます。

日々の教育活動に取り組んでいます。卒業生の皆様におかれましては、今後とも温かく見守つて戴きたく存じます。

日本人の智恵



校長

佐藤精治

落ち葉を大切に扱ってきた。

かつての日本の伝統農業については次のような記録が残されている。

我が国の人口減少が止まらない。このままいくと東京オリンピックに国内がわいた五年後。六十五歳以上の高齢者が三十五百万を超えるといわれている。これに加えて人口も七千万台になるという報道もある。この影響なのか、来年度から四年にわたり中学校卒業者数が減少。私学同士の熾烈な競争が始まる。本校もそれを見越して特技「ースや看護」ース、国際コースを作つて他校とは違う特色を出そうと教育活動を行つてきた。付属中学校も開校した。しかし、何よりも生徒を集め最大のものは在校生や卒業生の「応援の声」と確信している。

さて、高齢化社会が進む中で我が国の第一次産業の衰退が気になる。特に我が国の食料問題に直結する農業問題だ。100年ほど前、日本に住む人々の「百姓」と呼ばれていた。百姓とは文字通り「100種類のものを育てる人々」という意味。彼らは「土」をよくな愛し、森の

りと煙突からただよいながら登ると、煙の中の蒸気が冷たい煙突の壁面にあたり、煙突をつたつてしまふがバケツの中に入る。この液は薄められて農作物につく病害虫の予防に使われる。自然の液だから農薬のように人間に害が起つことはない。

やひじごぶられて缶の中に残つた「もみがら」の炭は、「トリの糞と森から持つてきた落ち葉」のぬかと混ぜる。これを二つトリ小屋の床下に敷く。すると発酵熱が発生し外気温が十度を下回る冬でも床の温度は二十五度を超えるほどの温かさとなる。これが「トリたちに快適な環境を与える。炭が混ざつていたため臭い二才イも消える。しばらくたつと床下で良い肥料ともなる。

現在のように電気やガス・石油の火力に頼ることは切ない。外に9メートルの雪が積もるときも発酵作用を利用し32度の熱を創りだしてきた。これが日本人の知恵だ。

また、雑草を生えないようにするためにも「百姓」たちは知恵を受け継いできた。「メを精米したあとに「メぬか」の利用だ。「メぬか」は、やがて土の中で分解され、バクテリアを増殖。このバクテリアが雑草の芽を食べてくれる。現在のよくな農薬を使う必要はまったくなかつた。

このように日本の農業は、農場から出る「廃棄物」を発酵と科学的作用を利して農場に有用となるものに変えていた。日本には数千年にわたり培われてきた伝統的な農法があつたが、戦後70年の間にすぐに効果が出るという理由でアメリカ式の科学農業に押され、すっかりと消えてしまつた。

しかし、若者たちの中で日本の伝統農業を復活しようという動きが生まれてきている。

世の中がいくら進んでも人間を支えるものはしなやかな思考力と自然を愛する心のはずだ。

大阪学芸で学んだ卒業生の中から日本 の伝統を守つて行くことが出来ることを願つていて。これから進路を考える人たちも農業、林業、漁業など我が国の生活を支える第二次産業にも目を向けてほしいものだ。

平成29年度PTA活動計画



PTA会長

松田 真也

平素からPTA活動にご理解・支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

私は本年度PTA会長を務めさせていただきます。松田真也と申します。昨年度は栗岡会長の下、一年間書記としてPTA活動に参加して参りました。その経験を踏まえ、さらに発展したPTA活動となるよう精一杯励むつもりでおります。至らない点も多々あるうかと存じますが、ご指導・鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度のPTA活動は左記のとおりです。これら以外にも毎月の定例会に加え、風紀(下校)指導への参加なども予定しております。

5月…PTA総会(6日)/学級委員総会・新旧役員懇親会(27日)
6月…体育祭(22日)/1・2学年懇談会(24日)

7月…3学年懇談会・附属中学学年懇談会(15日)/PTA新聞「きずな」(第156号)発行

8月…公費助成運動の取り組み(~11月)
9月…文化祭(9日)
10月…社会見学会/進路説明会(21日)
11月…忘年会
12月…PTA新聞「きずな」(第157号)発行/私学助成国会請願
1月…新年会/私学振興大会

3月…役員会
4月…入学式参列

本年度は附属中学校が2学年体制となり、新入生を迎えて校内はこれまで以上に活気に溢れております。PTAもその活動気分に負けないよう、新役員先生方と共に丸となって活動し、充実した学校生活となるようサポートしていきますので、引き続きご支援の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

大阪学芸高等学校・付属中学校
募集対策部報告

募集対策部長 桧垣 昭仁

平成29年度入試結果と今後

(付属中学校)開校して2年目になりますが、約80名の募集に対し81名の入学生を迎えることができました。

中学入試の世界は大変厳しい状況が続いているおり、受験生が500名を超える学校は64校中わずか14校しかありません。2年前に附属中学校を作るとなつた際には、学習塾を含めた教育関係者からは「こんな時期に中学校を作るなんて、集まるわけがないなど」陰口をたたかれたものです。本校は他の私立中学校とは「線を画した」コンセプトを持ってスタートしました。

開校前年度平成27年6月に学習塾の先生方対象への説明会を行い、「コンセプト・教育方針など説明をしましたが、後日ある塾長先生から、「いいところに目を付けられましたね」、「潜在的なニーズがありますよ」などお言葉をいただき、「やり方次第では生徒が集まる」と確信しました。1年目、2年目と好スタートがけられたわけですが、それなりに課題もあります。それは小学校六年生にして既に英語検定試験準2級以上を取得している優秀な生徒が数名います。2年後に彼ら彼女らが高等学校に進級する際、学芸高校の受け皿をしっかりとおかないと、他校へ逃げられる恐れがあります。ですから管理職の号令のもと、2年後に備えた準備を始めて

いるところです。
(高等学校)540名の募集人員に対し、結果として16クラス、662名の入学生を迎えることができましたが、志願者は873名(前年度▲100名)、3年連続で競争倍率が高くなっていることもあり、併願戻り率が2年連続18%であったことが好結果をもたらしてくれた要因です。本校の競合校では校舎が新しく、最新鋭の設備やすばらしい食堂を備えています。そういう意味では不利な面がありますが、そこは「教育の中味」で勝負していくしかありません。本校では、特色のあるコースとして、「特技コース」「特進看護コース」「国際コース」を設置しております。それぞれのコースの概略は次のとおりです。

「特技」：中学校段階で既に地域活動(バトン・トワーリング・クラシックバレエ、フィギュアースケート・芸能など)で学校をお休みすることが多く、通常なら通信制単位制の高校に通わなければならぬといふ状況がある中、普通の高校生活送り、活動がしやすい環境を提供します。

「特進看護」：今の医療現場では、医師・看護師・薬剤師などがチームを組んで、医療にあたるという「チーム医療」が行われてきています。それには、高度な医療知識・技術が必要なため、4年制大学・大学院出身の看護師が望まれています。本校では4年制大学看護学部合格を目指し、またその先にある国家試験合格のための基礎学力を3年間徹底的に行なう「コース」。

2学期の1年間海外留学をします。
現地学校での単位を最大36単位認定しますので、3年間をオーバーせずに卒業が可能です。他校でも行われてプログラムもありますが、本校では仲介業者を通さず、直接現地の教育委員会等と交渉を行つた、他校にはない本校独自の留学プログラムがあります。(O.G.O.P./O.G.N.P.)、1年間に海外留学にかかる費用の相場は約400万円ですが、本校では290万円と格安です。本校プログラム費用には約8週間の夏休み期間中のサマープログラム代が含まれます。他校では別途30万円ほど必要ですし、留学期間中の授業料も他校では必要な学校が多い中、本校では頂いておりません。また、何かトラブルがあつた場合なども、他校のように何人か人を介しての連絡対応ではなく、直接現地コーディネーターから連絡が入りますので安心していただけます。このように大阪学芸は安価・安心・内容充実した1年留学を実現します。

話題は変わりまして、高等学校の生徒募集ですが、今後大阪府下公立中学校卒業予定者数が毎年2,000名ほど減少し、今後4年間で9,000名もの生徒が減少します。(昭和62年 約14万人の生徒数であったものが、6万人台に突入)いよいよ生徒の奪い合いが始まります。本校は、教職員がこれらの危機意識を持ちながら、「生徒の進路獲得」と卒業時に「大阪学芸に来てよかつた」と言っていただけの魅力ある学校作りに管理職教職員が丸となって取り組んでまいりますので、高等学校・附属中学校とともに、今後ともより層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。



PTA役員一同

平成28年度 大阪学芸高等学校主要大学合格一覧

国公立大	
大阪大	1
神戸大	1
大阪府立大	2
大阪市立大	3
大阪教育大	2
京都工芸繊維大	1
和歌山大	8
千葉大	1
埼玉大	1
信州大	1
山口大	2
その他国公立大	4
合 計	27

私立大（関西圏）	
同志社大	13
関西大	72
関西学院大	21
立命館大	25
近畿大	98
甲南大	27
龍谷大	77
京都産業大	43
関西外大	34
京都外大	9
大阪経大	23
大阪工大	50
同志社女子大	10
京都女子大	4
摂南大	69
武庫川女子大	21
桃山学院大	64
神戸学院大	17
追手門学院大	11

私立大（関西圏以外）	
青山学院大	1
中央大	1
日本大	2
東洋大	2
東京農大	1
金沢工大	3
立命館アジア太平洋大	1

私立大（医療系）	
関西医療大	3
森ノ宮医療大	2
千里金蘭大	1
兵庫医療大	4
大阪歯科大	1

現役生・既卒生合計の「のべ」人数

大阪学芸中等教育学校だより

柴田俊次

同窓会の皆様には、平素より中等教育学校の教育活動推進にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。本校は、平成6年に中学校設立のプロジェクトが立ち上げられて検討の後、平成8年4月に、国公立大学をはじめとした難関大学への合格を目指し掲げ、男女共学の大坂学芸中学校6年課程として誕生しました。その後、平成15年4月には、完全な中高6年貫教育を行う、大阪で唯一の中等教育学校として名称を変更し、本年創立22年目の年を迎ました。募集については、昨春開校した大阪学芸高校附属中学校と棲み分け、21期生(現2年生)の募集からEコース80名といたしました。中学入試は、年々小学6年生の児童数が減っていく厳しい状況が続いております。同窓会の皆様のお子様、お孫様、また小学生のおられるお知り合いの方に本校をご紹介いただければ幸いです。

本校では、日々の授業内容の工夫・改善に力を注ぐのはもちろんのことですが、学力向上に向け様々な取り組みを行っております。特に大きく2つの柱で進めていきます。「国公立大学合格支援プログラム」と「新大学入試制度に対応した取り組み」の充実です。

まず、「国公立大学合格支援プログラム」ですが、昨年度より1年勉強合宿、管理

視野を広げて自ら行動できる人を育てるために、1年からテーマに沿って様々な取り組みを企画・運営しています。特に、総合的な学習の時間「学芸ESD」や「学問探求団RYS」は、長年の実践を積み重ねてきた誇れる取り組みです。

平素の授業で行う「学芸ESD」では、視野を広げて自ら行動できる人を育てるために、1年からテーマに沿って様々な取り組みを実践しています。学問探求団「RYS」では、「論より証拠」をスローガンに企業や高等教育機関を訪問し、自ら学び続ける姿勢を身につけさせるよう努めています。

そして、これらの活動で身に付く表現力や思考力、主体性や協働性は新大学入試と密接に関わっており、こういう学力が今後小論文や面接などに活かされると考えます。教科の授業のみならずさまざまな活動を通して、6年間の中での自分が将来を見つめ、進路目標を実現していくというキャリア教育の視点を持ち、今後も取り組みを充実させてまいります。

同窓会の益々のご発展を祈念いたしましてとともに、今後とも大阪学芸中等教育学校をご支援いただきますようお願い申しあげます。

自習室の開設、ハイレベル指名講習などの新たな取り組みも行っています。無駄のない6年完全貫のプログラムを組むことで、系統だったきめ細やかな指導を行っていき、進路に対する意識を高め、学力向上に結びつけていきます。

次に「新大学入試制度」に対応した取り組みです。本校では、研究開発部という分室を設け、「生徒と社会とを繋げる」「生徒の視野を広げる」「生徒の知的好奇心を刺激する」という3つのミッションのもと、様々な取組みを企画・運営しています。特に、総合的な学習の時間「学芸ESD」や「学問探求団RYS」は、長年の実践を積み重ねてきた誇れる取り組みです。

大阪学芸中等教育学校報告

平成28年度 大阪学芸中等教育学校 大学入試結果(抜粋)

卒業生徒数 109名 平成29年3月28日現在

国公立大学

大 学	学 部	実人数
神戸大	医・保健	1
大阪市立大	工	1
大阪市立大	理	1
和歌山大	経済	1
兵庫県立大	理	1
岡山県立大	情報工	1
公立鳥取環境大	経営	1
福山市立大	都市経営	1
釧路公立大	経済	1
高知工科大	情報	1
山口大	理	1
愛媛大	法文	1
計		12

主な私立大学

大 学	実人数
関西大	8
関西学院大	1
同志社大	4
立命館大	4
京都産業大	2
近畿大	21
甲南大	2
龍谷大	2
上智大	1
日本大	1
駒澤大	1
専修大	1

その他 ※現役進学率87.2%(+1.2)

大阪府の参加校は200チームあります。大阪府の優勝・準優勝校は、全国大会でも名を連ねる強豪校です。他にも強化クラブとして活動しているチームは30校以上あります。そんな激戦区の大阪で、本校は着実に進化し一步一歩歴史を塗り替えています。昨年度の春高予選では、ベスト8かけて全国大会優勝校の金蘭会高校と対戦。新人戦では、準々決勝で伝統校の四天王寺高校と対戦をしました。敗退はしたもの、数年前まで手の届かなかつたチームと、上位層で対戦できるようになった喜びも感じられる試合でした。

私は今年度で、監督就任7年目を迎えました。附属中学校にも女子バレー部を創設し、中高貫で強化をし始めた2年目となります。卒業生が社会に出て活躍している様子を聞くようになり、私も自身励みになります。また刺激となっています。その先輩たちの意志を継ぎ、現女子バレーボール部員も「良きバレーボラーである前に、良き学芸生であれ」の精神のもと練習に励んでいます。バレーボールは、ラリー中にボールを持つて考える時間もなければ、周囲を見渡して確認する時間もありません。瞬時の判断が要求されるからこそ、その人の持つ人間性が出る競技です。普段の行動がコート上のプレーに影響するため、指導する上で学校生活や学

業面においても自己研鑽できるよう心がけています。

本校の選手、学芸のバレーを見て「誰もが応援したくなるような部」を目指し、最高成績の大坂府ベスト8に慢心せず新たなステージに向かつて頑張ります。今後とも応援よろしくお願いします。最後になりましたが、学園を支えてきてくださった方々、生徒達が安全に伸び伸びと成長できる場を造ってくださっている方々に心より感謝申し上げます。



大阪学芸高校 女子バレー部

ご紹介

顧問 眞鍋早智



女子バレー部の皆さん



附属中学校女子バレーボール部紹介



附属中学校女子バレーボール部は2016年4月、附属中学校の開校に併せて創部しました。部員は大阪から通学する5人に加え、愛知県・滋賀県から寮に入つて入学した5人の合計10人でスタートしました。

中学生は成長期であり、学年により体格の違いも大きい中、全員が1年生であ

る本校の部員たちは他校の上級生を相手に試合の度に奮闘を繰り返してきました。その結果、夏に行われた大阪府中学校バレーボール優勝大会(近畿大会予選)では総勢400校以上のなかでベスト16という戦績を残しました。また、秋に行われた大阪市南北地区バレー

ボール大会に於いては堂々の第一位となり、冬に行われる府の大会での地区代表シード権を手にしました。惜しくも冬の大会では近畿大会への出場権を逃してしまいましたが、創部1年目にして勢いを掻んだ幸先の良いスタートだったと考えています。

この4月からは新たに8人の新入部員を迎える、一段と活気に溢れた練習の日々を送っています。本校の特徴である「勉強と部活動の両立」という点でも部員たちはとても良く頑張って学校生活を送っています。今年度こそ、近畿大会全国大会への出場を目指し、日々人間力を高めながら精進して勉学に練習に励んで参ります。どうぞ、応援のほどよろしくお願い申し上げます。



最初、同窓会を開こうといつ話が出たのは6月でした。卒業して以来会っていない人もいるので、その人達と会えると思うと、楽しみな気持ちになりました。各クラスに同窓会委員がいたので、その人たちとまず連絡をとり、日時、場所などを決めていきました。

また、担任をしていただいている先生にも協力をしてもらい打ち合わせを進めっていました。打ち合わせで最も苦労した点はやはり出欠をとることでした。これは次回への反省点であると思います。そして当時は大盛り上がりました。懐か

しい顔ぶれと、あのときああだつたねなどの話ができました。ものすごく変わった人もいれば、当時のままの人もいて胸が踊りました。お世話をなった先生方にも、参加いただきました。恩師の言葉はどれも熱かったです。瞬ですが高校時代に戻ることできました。心から幸せな気持ちになりました。それと同時にみんな頑張っているから自分も頑張ろうという気持ちにもなることができました。

最後になりましたが、同窓会を開いてくれた役員の方々、協力、参列していただきた先生方本当にありがとうございます。良い学校を卒業したなと思っています。

108期生同窓会 報告 村上 将士(特技1期生)

故 和田貞夫先輩を偲んで



くれました。

和田先輩は、学園創立100周年（平成15年）の同窓会記念事業として、高野山に学園関係物故者の慰靈碑を建立（平成18年完成）されました。なお、又100周年の年には、新今宮駅近く（学園発祥の跡地）に学園発祥の記念碑も建立されておりれます。

同窓会の恒例の行事として、毎年8月には、森寛紹師先輩ゆかりの普賢院で泊して、奥之院と学園慰靈碑を参拝し、高野山の近隣の温泉郷を訪ねて、锐氣を養う旅行が企画されております。

和田先輩と私は同じ丑年生まれ、先輩は大正14年1月の生まれ、私は昭和12年9月の生まれ、一回りちがいの同じ丑年生まれです。平成22年の3月、和田同窓会会长と西野副会長のお二人が我社にお越しになつて、今年の5月の定期総会で会長職を交替してくれと、口説かれました。たしか和田先輩は85歳にもなつておられた様に思います。実はこの年の定期総会は、役員改選の年と違う年でした。私も70歳を過ぎており、もっと若い人になつてもうつて欲しかつたのですが、大先輩がそこまで言われる所以で、お受けする事とあになりました。その時先輩は「奥さんとよく相談したか」と気をつかつてくれましたが、私は、「相談したら絶対に反対されるのが判つてゐるから、相談せぬです」と答えたら、「そうかー」と言つて、うなずいていたことが忘れられません。

戦後70年・学園創立当時の木造校舎

戦災消失70年後の今日を見学のため、平成27年3月28日に新今宮（発祥当

時 南区貝殻町 現在は浪速区戎本町）

学園発祥之記念碑前に同窓会役員10名

が集合しました。和田先輩を語り部に

ご出席いただき、今も在る成器商業学校の生徒専用の通路となつてゐた小さなトンネルの事や、昼時の弁当の時間になつたら汽笛を鳴らしてくれた関西線

の汽車の事や、校門の前にあった富岡洋

服店の事や、南海本線の西側に料亭があ

り、その料亭が所有する「夫婦が池」と

言ふ池であり、学園創立者の遠藤三吉先

生はその料亭（池も含めて）を買い取つて、学校用地にした事、などいろいろな

お話を聞かせて頂きました。先輩は懐かしそうに、昔を思い出しながら詳しく述べ、学校の事や、校門の前にあった富岡洋

服店の事や、南海本線の西側に料亭があ

り、その料亭が所有する「夫婦が池」と

言ふ池であり、学園創立者の遠藤三吉先

生はその料亭（池も含めて）を買い取つて、学校用地にした事、などいろいろな

お話を聞かせて頂きました。先輩は懐かしそうに、昔を思い出しながら詳しく述べ、学校の事や、校門の前にあった富岡洋

服店の事や、南海本線の西側に料亭があ

り、その料亭が所有する「夫婦が池」と

言ふ池であり、学園創立者の遠藤三吉先

生はその料亭（池も含めて）を買い取つて、学校用地にした事、などいろいろな

年3月に自叙伝「草莽の臣 わが人生」を発刊され、著書として書き残しておられますので、是非ご読ください。

この著書の付録に大相撲の第28代木村庄之助立行司と対談の記録が掲載されています。

先輩は相撲が大好きで、母校成器商業学校が昭和12年に堺市・大浜で開催された、全国中等学校相撲選手権大会で優勝し、全国制覇をした時の事を常々話しておられました。

平成28年12月18日に天寿を全うされ、天国に旅立たれた和田貞夫同窓会名誉会長の生前を思い出し、書きしたためると共に、冥福をお祈り申し上げます。さよなら。

平成28年12月18日に天寿を全うされ、天国に旅立たれた和田貞夫同窓会名誉会長の生前を思い出し、書きしたためると共に、冥福をお祈り申し上げます。さよなら。

東大・京大・一流の大学を卒業した議員や官僚を相手に堂々と政治活動（執務）をし、時には国会においても論戦を交わすこともありました。

又大阪にベトナム国の総領事館を誘致され、日本国とベトナム国、両国の友好親善と発展に多大なる貢献をされました。



「故 和田貞夫氏を偲ぶ会」厳かに営まれた。
平成29.5.20(土)AM11時～
会場:ホテル・アゴーラ・リージェンシー堺4階

平成29年5月20日

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

名譽会長 仲西 晃

継続は力なり — 落語と私 — 同窓会顧問 猪瀬正雄

一 落語との出会いはラジオ

小学生の頃、入院中の退屈凌ぎに聴いていたラジオで落語を知り、その面白さにすっかり取りつかれた。

二 落語と絵心

落語は聴きながら、頭の中で場面を創造して楽しむ。その際、絵心が大いに役立つ。場面展開ができると、それは疑似体験となり、実体験を話す如く演ずる際に台詞や仕草は割と自然にでてくる。

三 落語活動 (その一) 学生時代

小学生の頃は、臨海学校や同級生の歓送迎会や、家での来客に対し落語や物まねをしていた。暫く間が空いて、大学卒業後、友人達の結婚披露宴での演芸として再開した。

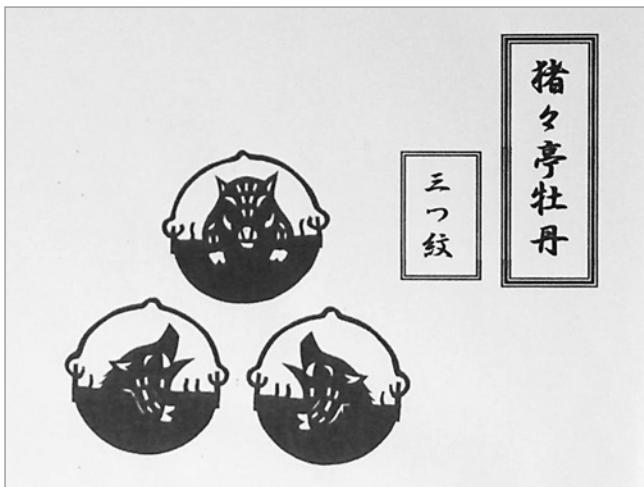
(その二) 家庭編

長女小三、長男幼稚園の春休み、子供一人とランチにファミレスへ行き、帰りに桜の名所に行つた。車座で花見をしている人達と楽しい交流があった。家で子供達が寝る前に「昔から落語というものがある。花見を話題にした『長屋の花見』という歌がある。今からやるから」と演じたら腹を抱えて笑っていた。以来年間毎週土曜日の夜はいろんな落語を、時に読み聞かせてやりお蔭で当方は持ちネタも増え、子供達は落語ファンになつた。

(その三) 五代目桂文枝師

法善寺横丁のパブでは元帝塚山大学学長故

(その四) 猪々亭牡丹一門会



(その五) 柳家金語楼師の書

女流画家で「ストーリーテラー」である人と知り合つた。本一冊を丸覚えして、暗い部屋でロウソク一本の灯りの前で語る「静」の世界と、「動」の世界である落語。一人話芸の世界の対比が面白そうだ」ということで共演を始め、高座で「一つずつ披露した」。そのとき高座名を「猪々亭牡丹」とし、猪が鉄鍋に入っている「三つ紋」を考案した。



柳家金語樓
自画像

(その六) 東北支援

東日本大震災発生から間もない2011年6月に、避難所では新しい夏物布団が不足していると聞き、「チヤリティ落語と紙切りの会」を実施した。落語二席と紙切りを披露して六万円を集め、近所の寝具店で夏物十七セットを被災地大船渡市へ送つた。それがきっかけで被災された方々と交流が生まれ、今日に

森永道夫さんと出会い、彼が五代目桂文枝師の後援会長をしていた関係で五代目とは何度も酒席を共にした。ある寄席の樂屋に挨拶に行つたら、会の後森永さんが待つ料理屋へ五代目の車で行くことになった。運転手は今や重鎮の桂雀二郎師であつた。

至つてゐる。

(その七) 猪々亭牡丹一門会

所属する奉仕クラブの面々の職業は「言でいる」「お堅い仕事」が多い。その人たちを煽つて一門会「艶笑小噺落語会」を二度実施した。会場は小料理屋の座敷で、料理・酒を楽しみながら、面々が私の提供した下ネタを発表した。迫真的演技で同席していた奥さんが怒りだしたり、覚えきれなかつたといつてアブナイ話を拡大「ピー」して朗読する者もいて、大笑いの会となつた。又やりたいことだが、奥さん達に怒られるので下ネタはやめる。



(その八) 小学校にて

小学校の課外授業の一環として落語指南度やつてみたが、先ず「落語とは何か」を話す必要があり、正直やりにくかつた。でも創造力を鍛える意味では落語の力は大きい。

(その九) 地域活動にて

最近は地域の老人会やカブエでの文化イベントなどで落語の機会も増えて、少しは社会に役立つてゐるのかなと実感している。持ちネタもおよそ50になつた。高齢者の自分にとっては脳トレも兼ねて有益に思える。

活動報告

秋季懇親会 出席者62名

(2)高野山の写真について

- (1)平成28年定期総会 最終打ち合わせ
- (2)役員に關する件
- (3)余議録について
- (4)同窓会の印鑑について

平成29年1月21日(土)午後5時～

於：天王寺都ホテル(17F エトワール)

第9回同窓会役員会 出席者21名

「審議事項」

(1)新役員名簿の校正及び委嘱状の発送

(2)会報21号の発送報告と残部について

(3)同窓会内規について

(4)秋季懇親会について

「審議事項」

(1)平成27年度活動報告・決算報告

(2)平成28年度活動計画案・予算案

(3)役員改選

(4)平成28年度 入学式について

(5)会報21号発行について

(6)平成28年度定期総会について

(7)平成27年度決算報告書について

(8)平成28年5月14日(土)午後2時30分～

於：同窓会室(アンシエ1号館)

第2回同窓会役員会 出席者11名

「報告事項」

(1)会報21号原稿提出状況

「審議事項」

(1)新役員の発表と承認

(2)定期総会・懇親会の反省について

(3)会報21号の最終校正

(4)高野山 普賢院 泊と慰靈碑参拝・

野迫川温泉旅行について

(1)平成28年定期総会の初校

平成28年5月28日(土)午後2時30分～

於：同窓会室(アンシエ1号館)

第3回同窓会役員会 出席者13名

「審議事項」

(1)会報21号校正について

(2)総会資料について

平成28年6月11日(土)午後2時～

於：道頓堀ホテル(なんば)

第4回同窓会役員会 出席者15名

平成29年2月21日(火)午前11時～

於：天王寺都ホテル(17F エトワール)

「報告事項」

(1)卒業式予行・同窓会入会式について

「審議事項」

(1)秋季懇親会の反省について

「審議事項」

(1)秋季懇親会の最終打ち合わせ

「審議事項」

(1)平成28年4月23日(土)午後2時30分～

於：同窓会室(アンシエ1号館)

第1回同窓会役員会 出席者17名

「報告事項」

(1)平成28年度 入学式について

「審議事項」

(1)平成27年度 入学式について

「報告事項」

(1)平成28年9月3日(土)午後2時30分～

於：天王寺都ホテル(17F エトワール)

新役員歓迎会 出席者18名

「審議事項」

(1)秋季懇親会会場の下見について

(2)新役員名簿について

「審議事項」

(1)秋季懇親会の準備と進捗状況・任

務分担について

(2)第11回吹奏楽部OB楽団の定期

演奏会の件

「3)同窓会内規について

平成28年8月6日(土)～7日(日)

高野山普賢院泊と慰靈碑参拝

ホテル野迫川温泉の旅

参加者15名

平成28年9月3日(土)午後2時30分～

於：同窓会室(アンシエ1号館)

第6回同窓会役員会 出席者15名

「報告事項」

(1)泊一日の高野山について

於：コーエーユニバーサル大使館(なんば)

平成28年11月5日(土)午後5時～

第1回同窓会役員会 出席者15名

平成29年3月11日(土)午後2時30分～

於：同窓会室(アンシエ1号館)

第10回同窓会役員会 出席者16名

「報告事項」

(1)委嘱状授与・同窓会入会式について

(2)卒業式について

(3)平成29年度入学式について

「審議事項」

(1)平成29年度行事予定について

(2)平成29年定期総会と会報22号発

行の準備について

行事報告

平成29年定期総会・懇親会

総会

副会長 上野 寅次郎

平成29年6月10日（土）午後4時より道頓堀ホテルに於いて、定期総会を開催いたしました。司会の桜井良一副会長の開会宣言で始まりました。議案審議に先立ち、議長には竹田喜久常任幹事代表、副議長には上野寅次郎副会長が選出され議案審議に入りました。

- 一、平成28年度活動報告 副会長 松田和人
二、平成28年度決算報告 会計 氏田隆夫
三、平成28年度監査報告 会計監査 大橋秀志
四、平成29年度行事計画案 副会長 田中敏文
五、平成29年度予算案 会計 氏田隆夫

審議の結果、全ての議案は可決承認されました。以上で総会は終了しました。

懇親会

同日午後5時より同場所に於いて68名が参加され、川原実会計幹事より懇親会の司会をお願いし、開催されました。

物故者に黙祷をすませて、米田耕作会長の挨拶から始まりました。会長になつた当初は仲西名譽会長よりいろいろとご指導も頂いておりましたが、一年経つた今日ではその数も少くなつてきました。本日は冷たいビールを飲んで楽しくと笑顔で挨拶されました。

引き続き来賓の岡本利雄理事長よりご挨拶があり、理事長在任10年になりました。業績ではこんなに良くなるとは思わなかつたと改めて驚いています。それには大きな理由が有つて、大阪府・大阪市の教育に対して相当なる援助があつたこと、授業料に対し免除、各助成金の充実があつた等、良い環境でありますと、喜ばしい挨拶がありました。学事報告では佐藤精治校長より、まず最初に大阪学芸高等学校附属中学の学校案内に奨学生制度、特待制度に記載している様に優遇制度があります。卒業生の子女・孫・弟妹の入学をお薦めください。「力ナダ留学に出発!!」1月14日本校独自の留学プログラムであるO・G・O・Pに参加する生徒33名が力ナダのオタワに向けて1年の留学に出発しました。

又クラブ活動では世界でも活躍しています。女子生徒が空手ではクロアチア・カザフスタンに派遣されています。女子サッカーチームでは世界11ヶ国で活躍しておりますと、いろいろと学事報告がありました。松田真也PTA会長様からは、生徒達からの「ここにちは」「ありがとう」等々気持ちの良い挨拶ができるよう、礼儀を大切にしたいと挨拶されました。

藤井昭三顧問の乾杯の音頭で開宴し、ビンゴゲームで楽しく盛り上がり和気藹々と時間の経つのを忘れて、それぞれの商品を手にし笑顔で喜んでおられました。川原実会計幹事より中沢の挨拶に続き井関和彦顧問の三本目で幕を閉じました。



平成29年 総会・懇親会出席者

高野山普賢院一泊と

ホテル野迫川温泉旅行

会計監事 大橋 秀志



九度山・真田ミュージアムにて

例年通り、平成28年8月6日(土)～7日(日)に高野山普賢院1泊と慰靈碑参拝ホテル野迫川温泉の旅が執り行われました。

今年は、いつもと違いNHK大河ドラマ『真田丸』にちなんで九度山・真田ミュージアムへと希望者数名で見学に行きました。真田昌幸・幸村・大助の真田三代の軌跡と幸村の生涯で一番長く過ごした九度山

での生活をパネル展示やドラマ仕立ての映像で紹介され、楽しいひと時でした。運悪く雨が降り出し、より一層気温が落ちホツとする思いでした。

普賢院、夕食時米田新会長様、ご挨拶では、同窓会の運営に充たり「皆様方の参加と協力のお願い」をされておられます。2次会では、元藤井寺市長 井関様が地元の地滑り・大和川治水の件 等々の経験豊かなお話を傾聴させて頂き勉強になりました。

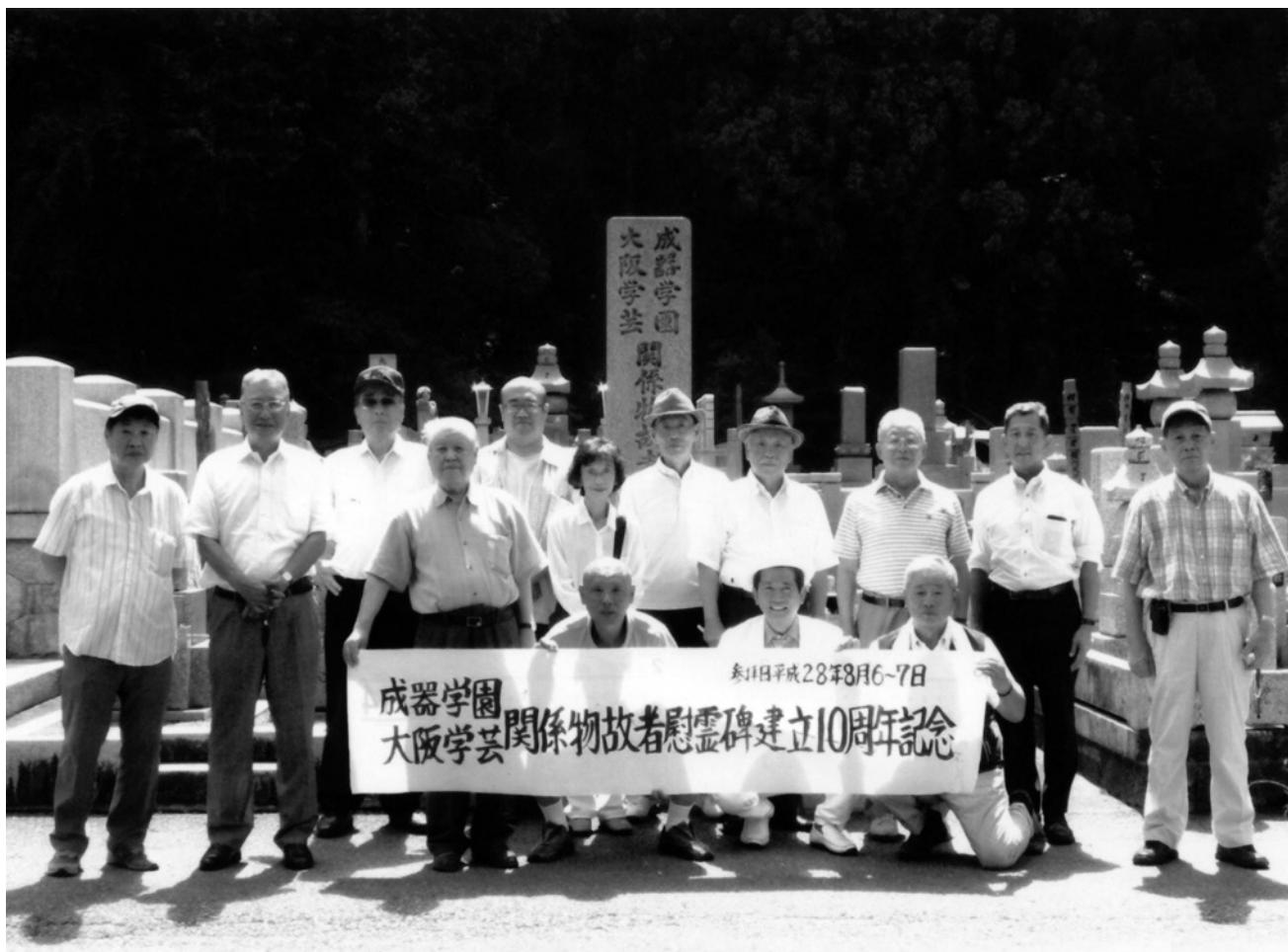
その後も話に花が咲き寝不足気味…

早朝には、全員で勤行に参加、ご本尊の前で手を合わせ皆様の健康と安全を祈願し日の始まりを感じました。

奥の院参拝の後、皆様と合流し普賢院僧侶の読経の中慰靈碑に礼拝「同窓会先人の感謝・学園の発展」を祈願しました。迎えのバスにてホテル野迫川温泉へ、川を見下ろせるお風呂、お肌がすべすべになる「美人の湯」に入湯、アマゾンくしの昼食に舌つづみを打ちながらの楽しい会話、あつという間の至福の時間を過ごせました。

その後、南海電鉄高野山駅まで送つていただき解散帰路に着きました。
(ありがとうございました。)

次回は、平成29年8月5日(土)～6日(日)予定しております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。



高野山参詣旅行参加者

平成28年度秋季懇親会開催

副会長 甘佐 勝

平成28年11月5日(土)午後5時より
ヒューミュンヘン大使館において、62名の
出席のもと、秋季懇親会が開催されました。

た。



元教職員の先生方

OBの先生方、PTA会長栗岡綾子様の
お出でをいたしました。

司会衣斐副会長の開会宣言に始まり、

物故者への黙祷、栗岡綾子様の挨拶に続き学
園を代表して岡本理事長の挨拶、佐藤校
長からの学事報告に同窓生も大いに関心
を寄せていました。その後、栗岡綾子

PTA会長の挨拶後直ちに記念撮影を終
え、続いて米田会長の開宴の挨拶、藤井昭
三顧問の発言で乾杯を行ない宴会に入
り、しばらくの間歓談となり各テーブルか
らは、高校時代の懐かしい話から現在の
報告などいろいろな話に花を咲かせて盛
り上がりました。

宴も闌、本年度活躍した女子サッカー
部、美術部に米田会長より奨励賞が贈呈
されました。恒例のビンゴゲームがあり豪
華な賞品に我先に飛びついてしまった。

終始和やかなムードで時間の経つのも
忘れて楽しい1時を過ごし、又来年も多数
の出席を期待し、上野寅次郎副会長の挨
拶で無事懇親会も閉会しました。



秋季懇親会 出席者

同窓会入会式

同窓会会長 米田耕作

同窓会の新幹事に委嘱状を授与する、

同窓会入会式は、第112回卒業式の前日、平成29年2月21日(月)に、大阪学芸高校体育館で行われました。

卒業生いわゆる入会者は、男性319名と女性337名の合わせて656名の多人数で、昨年よりも144名増え、16クラスで体育館も一杯でした。男女比は昨年同様に女性上位で、その為かどうか分かりませんが、今年も学年別幹事副代表は田原悠(ゆうさん)と言う女性の方でした。選出方法は各クラスより3名が選ばれ、そのほとんどの方が優秀であり、人のお世話が大好き人間であります。

私は10時20分に学校に到着、控え室に通されるともうすでに待つていてる役員も程なくすると予定する人が集まりました。参加者は私の他に上野・衣斐両副会長と神藤・氏田両会計そして若手の前事務局担当の6名でした。

少し前迄の入会式は新幹事の数名だけ講堂に集めてやつてしましましたが、二年前から卒業式のリハーサル後、全員がそのまま残り執り行う形になりました。11時になり私達は体育館に入りますと、館内は少しざわつきが残っていましたが、静粛になるには時間は要らず、緊張する間もなく登壇を促され、儀式に繋る丁重な挨拶を受けました。統いて新幹事を代表し田原さんが紹介され、私と対峙する様に登壇しました。私は彼女の見事な立ち居振る舞いに暫し見惚れ、この方が将来的の同窓会を担うのだと思い乍ら、委嘱状を手渡しました。

司会の山田先生に挨拶をせよと促さ

れ、次の様にお話をしました。

「：社会人となり、仕事や結婚、子育ても段落し40歳代になると学校や恩師、友人達を無性に懐かしむ心が湧き上がります。その時はクラス同窓会から始め、次に同期同窓会として学校同窓会をするのが良いでしょう。具体例を挙げますと、五年程前の卒業生は、入会後間もない3月の休みの間に第一回同期同窓会を、新幹事達が中心になり企画運営をしたのです。今程の若者は案内状を出す訳でもなくメールで連絡しあい、難波の某店で約150名集め開催しました。それには当時の担任鈴木清先生と私が参加しました。もう一つは、私が44歳の時クラス同窓会を5回やつており、その会場が難波蓬莱本店でしたが、他のクラスが名特別に参加しており、その彼が「良いなあ同窓会ができる」と言い出したのが切っ掛けで「よしそれならばやってやろう」と作ったのが成器39会同窓会です。今の様な幹事がいない時にそれは大変で、今でもクラス同窓会ならば行つても良いが、同期同窓会なら行かないと言う者もいます。平成5年7月3日(1993年)に第1回が戎橋ミュンヘンシティで76名の参加で行われ、今年で第19回目を迎えます…」この様に成器39会の草創期から現在に至る迄の説明させて頂きました。彼等は真剣に最後迄聞き終わりました。彼等は真剣に最後迄聞いてくれました。

明日の22日(火)の卒業式を前倒して、この様な機会を作つて下さった学校当局に感謝し、今後も学校を中心にして同窓会活動をする所存ですので、何卒宜しくお願いいたします。



同窓会入会式の様子

卒業生の近況報告

- # 卒業生の近況報告
- 山本和雄(昭和12年卒)
- 大正8年生まれ、満97歳、欠席。
- 井原靖二(昭和25年卒)
体調不良(じつき)静養中。
● 森田弘光(昭和26年卒)
腰痛の為、最近は外出の事が出来ない。
- 河守武士(昭和39年卒)
体調不良で欠席。
- いません。
- 河守武士(昭和39年卒)
元気でなんとかやっています。
● 滝澤勝利(昭和39年卒)
体調の都合で欠席。
- 舟井 收(昭和46年卒)
65歳現役で出張で総会欠席。
- 寺田俊三(昭和48年卒)
宗教音楽で非日常の時間を楽しむ。
- 尾上康雄(昭和48年卒)
公務で欠席。
- 北橋利造(昭和37年卒)
65歳現役で出張で総会欠席。
- 松村重一(昭和50年卒)
仕事の為欠席します。
- 田原 悠(平成29年卒)
4月より住吉大社で神楽女として勤めており、6月10日(土)は祭事がある為休みを取りません。
- 木村佐喜夫(昭和14年卒)
- 家族同伴でも外出は難しい。
- 三雲謙一(昭和27年卒)
私は73歳ですが2社パート勤務です。
- 樋川敏雄(昭和31年卒)
体調不良で欠席。
- 若林一男(昭和39年卒)
診療券の数が増加中。
- 西川弘史(昭和41年卒)
卒業して51年。近況は「身体と脳の認知症予防の為、高校時代の仲間と旧交を温める」こと日々です。
- 島田繁治(昭和42年卒)
新年度も東京土建一般労働組合練馬支部執行委員に選出されました。
- 本藤 豊(昭和50年卒)
ストレスをジムで汗をかいて解消。
- 梅林貞夫(昭和55年卒)
今年51歳になり病気なく元気にやっております。
- 松下長史(昭和19年卒)
- 元気でいますが欠席。
● 畑田能生(昭和19年卒)
腰椎損傷後のリハビリ中
- 谷口誠亮(昭和33年卒)
毎日農業しています。
- 水野建樹(昭和34年卒)
体調悪く出席できません。
- 岩坪 勝(昭和34年卒)
橋本先生から教わった「そろばん」は、
- 井上佐治朗(昭和42年卒)
70歳を過ぎてから健康維持と頭の体操のため再開。
- 北 勝善(昭和55年卒)
今回モリハビリの時間と重なって行けません。
- 中島日出男(昭和21年卒)
- 私は昭和3年10月31日生まれ。10月に90回目の誕生日を迎える。皆様によろしくお伝え下さい。
- 米田 孝(昭和34年卒)
例年と同様フルフル楽しんでいます。
- 松本憲重(昭和35年卒)
体力的に参加できない。
- 島田繁治(昭和42年卒)
学校の前を通る事があります。私の時代と遷つて大きくなりになりました。
- 高田良造(昭和43年卒)
体調が悪く安静療養中。
- 文野幹雄(昭和43年卒)
定年退職後、旅行、お城めぐり、鉄道を楽しんでいます。
- 勝田明高(平成2年卒)
法事の為今回も失礼します。
- 加藤久宏(平成4年卒)
今回は欠席させて下さり。
- 長谷川洋平(平成14年卒)
現在、近畿大学附属高校で保健体育の教員をしています。
- 奥原廣行(昭和44年卒)
習い事発表会があり申し訳ございません。
- 前田雄一(昭和45年卒)
マンション経営に携わっています。
- 島田正治(昭和45年卒)
仕事で出席できません。
- 武知茉穂(平成28年卒)
大学祭実行委員会にて、広報活動、オーブンキヤンバスのスタッフを務めています。
- 橋本利行(昭和45年卒)
パートにて働いております。
- 西野 博(昭和45年卒)
仕事の都合で申し訳ありません。
- 中西徳昭(昭和37年卒)
元気で週2回位バイトしています。
- 津川正行(平成19年卒)
元気で働いています。
- 田原 悠(平成29年卒)
4月より住吉大社で神楽女として勤めており、6月10日(土)は祭事がある為休みを取りません。
- 北村喜一(昭和25年卒)
いつでも活力を維持し、長命を満願致しました。
- 吉田秀勝(昭和25年卒)
お陰様で動き回っています。
- 岡崎義盛(昭和24年卒)
手足がしびれて歩けません。
- 岩崎義盛(昭和24年卒)
手足がしびれて歩けません。
- 上田 収(昭和22年卒)
研究が忙しい為欠席。
- 森居保行(昭和24年卒)
体調不良のため入院中です。
- 石塚雅英(昭和36年卒)
用事のため欠席。
- 菊池耕作(昭和36年卒)
出来る限り外出に心掛けて健康維持に努めています。
- 岩崎義盛(昭和24年卒)
手足がしびれて歩けません。
- 中西徳昭(昭和37年卒)
元気ですが、当日都合悪く申し訳ございました。
- 北橋利造(昭和39年卒)
元気で週2回位バイトしています。
- 西野 博(昭和45年卒)
仕事の都合で申し訳ありません。
- 橋本利行(昭和45年卒)
パートにて働いております。
- 田原 悠(平成29年卒)
4月より住吉大社で神楽女として勤めており、6月10日(土)は祭事がある為休みを取りません。
- 中西徳昭(昭和37年卒)
いつでも活力を維持し、長命を満願致しました。
- 北村喜一(昭和25年卒)
いつでも活力を維持し、長命を満願致しました。

教職員OB・OG近況報告

現職の先生からコメント

現職教職員の近況報告

猪瀬正雄先生
6月10日～12日ボランティア仲間と初めて熊本被災地を訪問し、その後の熊本支援の準備

もします。此の所私の周辺は落語ブームで
す。会報22号でも今年は落語がテーマです。
藤本恭作先生
体の調子が不具合で欠席します。

〔附属中学校〕 現職の先生方から「メントをじただく前に少しだけ近年の学校の様子を」紹介いたします。

- **野口雅春** 先生（英語科・教務部）
茶道同好会の顧問をしております。秋の文化祭にお越しの際は是非茶道同好会の茶席にお立ち寄りください。
- **北村瑞貴** 先生（英語科・国際教育部）
1年8組担任／コース…特進G)

手術後リハビリに努めている為欠席します。
中路 悟先生 無理ができなくなりました。リハビリに精を
出し、頑張っています。
古賀慶先生 71才になり、元気でやっています。

村井裕弥先生
他校で高校3年生の担任として頑張っています。
木村廣通先生
7年生～1年生の担任です。三教科つぶやき

6才現在も大阪の私立高校で非常勤の英語の講師を続けています。

竹谷和夫先生
野山の散歩を日々楽しんでいます。
佐原や江先生

前川啓治先生
次男が学芸高校1年生（入学）まゝ。昨
年10年ぶりに訪ねてくれた卒業生に在職
時代を懐しく思い出しました。

スケットボール部に入り頑張っているようで
す。OBの方々よろしく。

熊取福祉協議会の手伝いしています。特に土曜日に行事が多く忙しくしています。

退職し早や11年畠を耕し収穫を楽しんでいます。

会長がんばつぐたさう。
渋谷和彦先生
すっかり老化し、杖をたよりに歩いています。

●新施設が続々と完成

数年前より施設も充実してきました。ホールアリーナや学生寮、茶法室などの新施設の完成ホールや食堂、トイレの改修なども行われました。他にも、本館体育館に空調が入り少しずつ校内も変わってきております。また、玄関ホールには昨年度の卒業生保護者様方より卒業記念品として、大判モニターを設置していただきました。卒業生の皆さん、ぜひお立ち寄りいただき、懐かしの先生に会いに来る時にご覧いただけたらと思います。

●電子黒板とiPadの導入

現在本校では数年前から電子黒板を導入し、昨年度より附属中1年生が、本年度より高校1年生が授業等でi-Padを使用することになりました。ICT教育が始まり授業の形式も変わりつつあります。HR、総合学習などでもICT機器が活用されるようになっています。

●吉村順先生(英語科・教務部)

1年16組担任／コース・進学
旧2年19組のみなさんお元気ですか。本校
が始まって、おそらく後先なしの19組で「結
に頑張ったのが本当に印象的で懐かしいで
す。老体にむち打つて、また担任として何と
かやつてますので、またぜひ会いに来てくだ
さい。みんなの顔が見たいです！

2年1組担任／コース…特技

**卒業してから、今しばらく皆さんはどうの
ように日々を過ごしているのでしょうか。4
月以降は、何かしらの形で、それぞれ新しい
生活や環境に身を置いてとなる人が多
かと思います。私自身も大きな変化があつ
たため、いつも以上に慌ただしく毎日を過
ごしています。体調には気をつけて新しい生
活を送ってください。**

平成28年度・29年度役員名簿

文獻員之三二二十一

見哉文哉員之士克取



平成28年度 クラブ活動報告

(全国大会・地区大会の主要な結果)

* 詳細については、学校ホームページをご覧ください。

吹奏楽部

- 第35回 全国高等学校空手道選抜大会 第3位

- 第36回 全国高等学校空手道選抜大会
 - 【男子団体形】 第5位

- 【女子団体組手】 第3位
- 田中 透也（男子個人形） 第3位
- 関口 菲夏（女子個人組手） 第5位

空手道部（附属中学校）

- 平成28年度 全国中学生空手道選手権大会 男女団体形 出場

空手道部（高等学校）

- 第35回 全国高等学校空手道選抜大会
 - 【男子団体形】 第3位
 - 【男子団体組手】 第5位
- 【女子団体形・団体組手】 ベスト16

女子サッカー部

- 平成28年度 全国高等学校総合体育大会 出場

女子バレー・ボール部

- 第35回 全国高等学校空手道選抜大会 第5位
- 平成28年度 全国高等学校総合体育大会 出場
- 平成28年度 近畿大会（創部初） 出場

- 第35回 全国高等学校空手道選抜大会 第3位
- 平成28年度 全国高等学校総合体育大会
- 高木 七奈（女子個人組手）

卒業生の活躍（番外編）

山下 紗葵（同志社大学 4年）

平成28年10月末にオーストリア・リンツにおいて行われた「第23回世界空手道選手権大会」に女子団体形のメンバーとして出場し、空手道の世界大会で優勝しました。本校空手道部からの世界チャンピオンは彼女で4人目となります。

平成29年度 部活動報告（速報）

硬式野球部

- 平成29年度 春季大会 ベスト8（創部初）

※平成28年度 特技活動報告は大阪学芸高等学校的ホームページをご覧ください。



昭和41年卒業3年D組同窓会(卒業50年)

同じ「学び舎」で苦楽を共にし、卒業して半世紀。それぞれの道で額に汗し頑張った私達「団塊の世代」。

50年の歳月を超えて旧交を温め合えることは素晴らしいことですね。

これも偏にお世話役(中村亨さん)のお蔭です。

▲特別参加の尾崎正男さん(3年F組)



● 昭和41年(1966)卒業アルバム(3年D組)



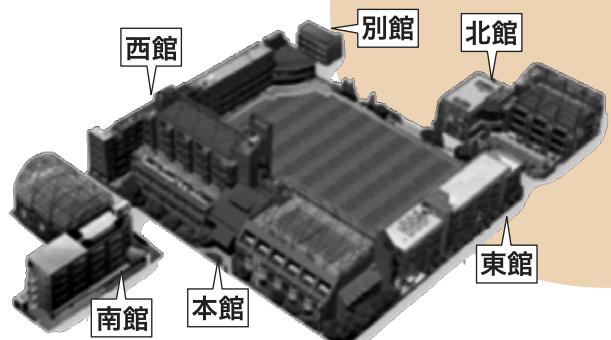
● 50年後(2016)平成28年7月30日



● 思い出の校舎



● 現在の校舎



因みに昭和41年(1966)の
世相はこんな時代でした…

みなさん!! それぞれに「思い出」がおあります。
今日も茹だるような猛暑です。どうぞお身体をご自愛なさって下さい。

西川弘史(平成28年7月31日)



- ピートルズが来日
- 千昌夫「星影のワルツ」が大ヒット
- 1966年(昭和41年)流行語
- グループ・サウンズ (エレキ・ギター)
- に日本語の歌詞をのせて歌つもの
- しあわせだなあ(加山雄三のヒット曲「君といつまでも」の間奏のせりふ)
- こまつちゃん (山本リンダが16歳で「デビューシングル」がヒット)

- 日本の総人口1億人突破
- トヨタがカローラ1100発売
- ニッサンがサニー1000発売
- ソ連の無人探査機「ルナ9号」が月面に軟着陸。月面写真を撮影
- 全日空ボーイング727、羽田沖に墜落、133人全員死亡
- NHK朝の連続ドラマ「おはなはん」が週刊少年マガジンで「巨人の星」を連載開始
- 茶の間を独立



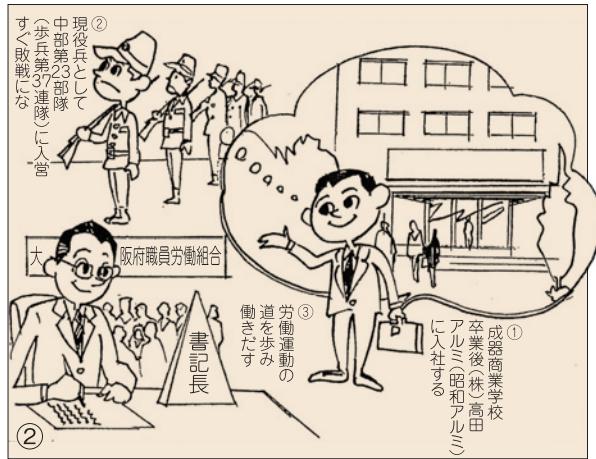
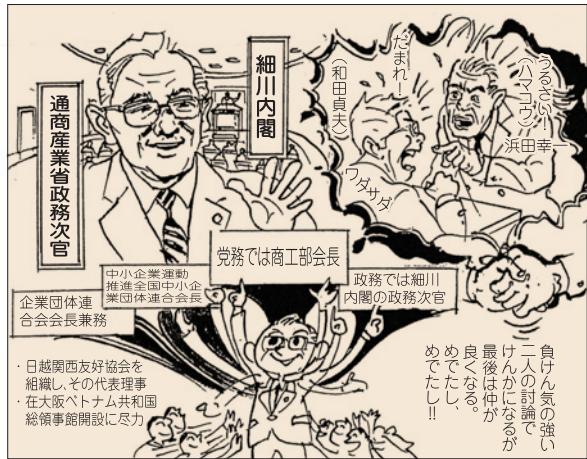
故和田貞夫先輩の経歴

略歴

1925年(大正14年)1月5日、和泉市平井町で生まれる。
母が病死後、親戚から小学校に通う。成器商業学校を卒業後、高田アルミニ(現昭和アルミニ)に入社。現役兵として歩兵第37連隊に入営。敗戦になり旧大阪連隊区司令部(大阪地方生活部)で復員業務に携わる。
後、大阪府民生部に移管。労働運動の道を歩み、大阪府職員労働組合書記長になる。
上部団体役員も兼務。政治活動に転身し、大阪府議会議員に立候補、当選3期。
1957年(昭和32年)4月堺市から大坂府議会議員に立候補、当選3期。
1971年(昭和46年)4月堺市長選に出馬、僅差で落選。1972年(昭和47年)12月、大阪5区から社会党候補として衆議院選挙に出馬、初当選。その後4勝4敗で約13年間国政に参加。党務では商工部会長、政務では1993年(平成5年)8月、細川内閣の通商産業省政務次官。
1995年(平成7年)9月、衆議院厚生委員長に就任した。中小企業運動を推進し、1969年(昭和44年)10月に堺工商互助会を結成(協同組合大阪中小企業センターに改組)し、理事長。全国中小企業団体連合会長を兼務。日越関西友好協会を組織し、その代表理事。在大阪ベトナム共和国総領事館の設立に尽力。2001年(平成13年)大阪学芸高校(旧成器)第五代同窓会会长就任。2010年(平成22年)名誉会長就任。2016年(平成28年)12月18日永眠。92歳。

◆ 1925(大正14)年1月5日 大阪府泉北郡池田村(現在の大阪府和泉市平井町)で生まれる。母はほくの幼い頃病死する。
◆ 1939(昭和14)年4月1日 私立成器商業学校に入学する。
◆ 1943(昭和18)年12月 私立成器商業学校卒業する。
◆ 1944(昭和19)年9月1日 高田アルミニ(現昭和アルミニ)株式会社入社。
◆ 1945(昭和20)年10月 歩兵第37連隊に入営する。
◆ 1945(昭和20)年12月 復員し、高田アルミニ株式会社を退社。
◆ 1947(昭和32年)4月15日 大阪府労働組合連合会書記長就任。
◆ 1947(昭和32年)4月23日 旧大阪連隊区司令部に就職。後に大阪府職員となる。
◆ 1957(昭和32年)5月8日 大阪府議会議員に立候補、当選。
◆ 1959(昭和33年)4月17日 堺市より出馬、大阪府議会議員当選。
◆ 1963(昭和38年)4月10日 大阪府議会議員に立候補、当選。
◆ 1967(昭和42年)4月15日 大阪府議会議員に立候補、当選。
◆ 1972(昭和47年)12月10日 第33回衆議院選挙、大阪五区から出馬、初当選する。
◆ 1972(昭和47年)12月18日 第37回衆議院選挙に立候補、当選。
◆ 1973(昭和48年)2月18日 大阪府議会議員に立候補、当選。
◆ 1990(平成2年)2月18日 第39回衆議院選挙に立候補、当選。
◆ 1993(平成5年)7月18日 第40回衆議院選挙に立候補、当選。
◆ 1994(平成6年)6月3日 全国中小企業団体連合会会長に就任。
◆ 2001(平成13年)年 大阪学芸高校同窓会会长就任。
◆ 2003(平成15年)8月9日 ベトナム友誼勲章を受章。
◆ 2010(平成22年)年 大阪学芸高校同窓会会长に就任。
◆ 2016(平成28年)12月18日 永眠92才。

同窓会会長・衆議院議員を歴任



年会費納入のお願い

平成29年度

同窓会募金につきご支援方お願い

今年学園創立百十四周年、同窓会設立四

十三周年を迎えました。我が母校は32,000名を越す卒業生が居り、内連絡の取れる方が16,000名以上に至ります。各界で多数の卒業生が活躍しております。

我が同窓会の収支計算書を見ますと、会費納入者の少ない事にお気付きかと思いま

す。「会員相互の親睦をはかるとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」と、会則・第3条にあります。その目的達成の為、役員一同は日頃懸命に努力しております。不行届きの点多々あると思われますが、何卒ご寛容下さい。

同窓会は勿論、会員皆さんの会費で運営されております。年間3,000円の会費です。出費の多い事、又邪魔臭い事などいろいろな事情は有るかと思いますが、何卒ご協力頂きます様をお願い申し上げます。

同窓会の皆々様におかれましては、益々

ご健勝のことと存じ上げます。

平素は、大阪学芸高等学校同窓会(通称「成器会」)に対し、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この募金にご協力頂きました方々の芳名を下記に記載させて頂きました。これに改めて深く感謝の意を表します。

既に今年は、トランプ米大統領の通商政策や英仏の欧州連合(EU)離脱など世界経済の先行き不透明感が強まっていることを踏まえ更に業績は、円高影響で減収減益となりトランプ政権の政策が経営に与える影響も見通しにくい状況あるとされています。

其の為にも引き続き学校側のご協力を頂き、皆様から受け継がれる伝統を次世代に繋げるための契機としたいと考えています。長い年月を経て変わりないものは、同窓生の皆様の母校に対する思いです。その思いによって結ばれる絆は掛け替えないものですが、この絆の礎ともなる母校は、これから絶えず新しい時代に相応した教育内容の充実整備を図ることが大切であるとともに更なる発展のためにも可能な限り募金活動を続けて実施し、是非皆様のお力添えを頂きたくお願いを申し上げる次第でございます。

平成28年4月1日以降平成29年3月31日までの受付分85名、金255,000円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、厚く御礼申し上げます。

年会費納入者

芦田 幸一
中野 伸二
阪上 佐
田中 孝雄
井上 達夫
寺田 正也
米田 耕作
中島 治朗
大迫 俊郎
柴田 泰也
川中 信行
南浦 喜久雄
松村 光三
上野寅次郎
吉田 秀勝
森島 春夫
谷口 誠亮
高田 春夫
平松 良造
高田 吉田
平松 輝義
高田 良造
高田 吉田
高田 幸一郎
吉田 佳志
吉田 一郎
沼田 明
高橋 刚
吉田 直輝
吉田 圭
数田 佳志
尾上 宏
田中 康雄
石田 政宏
中井 敏文
船井 (昭和46年卒)
田中 (昭和47年卒)
石井 (昭和48年卒)
数田 (昭和49年卒)
尾上 (昭和50年卒)
田中 (昭和51年卒)
吉田 (昭和52年卒)
吉田 (昭和53年卒)
吉田 (昭和54年卒)
吉田 (昭和55年卒)
吉田 (昭和56年卒)
吉田 (昭和57年卒)
吉田 (昭和58年卒)
吉田 (昭和59年卒)
吉田 (昭和60年卒)
吉田 (昭和61年卒)
吉田 (昭和62年卒)
吉田 (昭和63年卒)
吉田 (昭和64年卒)
吉田 (昭和65年卒)
吉田 (昭和66年卒)
吉田 (昭和67年卒)
吉田 (昭和68年卒)
吉田 (昭和69年卒)
吉田 (昭和70年卒)
吉田 (昭和71年卒)
吉田 (昭和72年卒)
吉田 (昭和73年卒)
吉田 (昭和74年卒)
吉田 (昭和75年卒)
吉田 (昭和76年卒)
吉田 (昭和77年卒)
吉田 (昭和78年卒)
吉田 (昭和79年卒)
吉田 (昭和80年卒)
吉田 (昭和81年卒)
吉田 (昭和82年卒)
吉田 (昭和83年卒)
吉田 (昭和84年卒)
吉田 (昭和85年卒)
吉田 (昭和86年卒)
吉田 (昭和87年卒)
吉田 (昭和88年卒)
吉田 (昭和89年卒)
吉田 (昭和90年卒)
吉田 (昭和91年卒)
吉田 (昭和92年卒)
吉田 (昭和93年卒)
吉田 (昭和94年卒)
吉田 (昭和95年卒)
吉田 (昭和96年卒)
吉田 (昭和97年卒)
吉田 (昭和98年卒)
吉田 (昭和99年卒)
吉田 (昭和100年卒)
吉田 (昭和101年卒)
吉田 (昭和102年卒)
吉田 (昭和103年卒)
吉田 (昭和104年卒)
吉田 (昭和105年卒)
吉田 (昭和106年卒)
吉田 (昭和107年卒)
吉田 (昭和108年卒)
吉田 (昭和109年卒)
吉田 (昭和110年卒)
吉田 (昭和111年卒)
吉田 (昭和112年卒)
吉田 (昭和113年卒)
吉田 (昭和114年卒)
吉田 (昭和115年卒)
吉田 (昭和116年卒)
吉田 (昭和117年卒)
吉田 (昭和118年卒)
吉田 (昭和119年卒)
吉田 (昭和120年卒)
吉田 (昭和121年卒)
吉田 (昭和122年卒)
吉田 (昭和123年卒)
吉田 (昭和124年卒)
吉田 (昭和125年卒)
吉田 (昭和126年卒)
吉田 (昭和127年卒)
吉田 (昭和128年卒)
吉田 (昭和129年卒)
吉田 (昭和130年卒)
吉田 (昭和131年卒)
吉田 (昭和132年卒)
吉田 (昭和133年卒)
吉田 (昭和134年卒)
吉田 (昭和135年卒)
吉田 (昭和136年卒)
吉田 (昭和137年卒)
吉田 (昭和138年卒)
吉田 (昭和139年卒)
吉田 (昭和140年卒)
吉田 (昭和141年卒)
吉田 (昭和142年卒)
吉田 (昭和143年卒)
吉田 (昭和144年卒)
吉田 (昭和145年卒)
吉田 (昭和146年卒)
吉田 (昭和147年卒)
吉田 (昭和148年卒)
吉田 (昭和149年卒)
吉田 (昭和150年卒)
吉田 (昭和151年卒)
吉田 (昭和152年卒)
吉田 (昭和153年卒)
吉田 (昭和154年卒)
吉田 (昭和155年卒)
吉田 (昭和156年卒)
吉田 (昭和157年卒)
吉田 (昭和158年卒)
吉田 (昭和159年卒)
吉田 (昭和160年卒)
吉田 (昭和161年卒)
吉田 (昭和162年卒)
吉田 (昭和163年卒)
吉田 (昭和164年卒)
吉田 (昭和165年卒)
吉田 (昭和166年卒)
吉田 (昭和167年卒)
吉田 (昭和168年卒)
吉田 (昭和169年卒)
吉田 (昭和170年卒)
吉田 (昭和171年卒)
吉田 (昭和172年卒)
吉田 (昭和173年卒)
吉田 (昭和174年卒)
吉田 (昭和175年卒)
吉田 (昭和176年卒)
吉田 (昭和177年卒)
吉田 (昭和178年卒)
吉田 (昭和179年卒)
吉田 (昭和180年卒)
吉田 (昭和181年卒)
吉田 (昭和182年卒)
吉田 (昭和183年卒)
吉田 (昭和184年卒)
吉田 (昭和185年卒)
吉田 (昭和186年卒)
吉田 (昭和187年卒)
吉田 (昭和188年卒)
吉田 (昭和189年卒)
吉田 (昭和190年卒)
吉田 (昭和191年卒)
吉田 (昭和192年卒)
吉田 (昭和193年卒)
吉田 (昭和194年卒)
吉田 (昭和195年卒)
吉田 (昭和196年卒)
吉田 (昭和197年卒)
吉田 (昭和198年卒)
吉田 (昭和199年卒)
吉田 (昭和200年卒)
吉田 (昭和201年卒)
吉田 (昭和202年卒)
吉田 (昭和203年卒)
吉田 (昭和204年卒)
吉田 (昭和205年卒)
吉田 (昭和206年卒)
吉田 (昭和207年卒)
吉田 (昭和208年卒)
吉田 (昭和209年卒)
吉田 (昭和210年卒)
吉田 (昭和211年卒)
吉田 (昭和212年卒)
吉田 (昭和213年卒)
吉田 (昭和214年卒)
吉田 (昭和215年卒)
吉田 (昭和216年卒)
吉田 (昭和217年卒)
吉田 (昭和218年卒)
吉田 (昭和219年卒)
吉田 (昭和220年卒)
吉田 (昭和221年卒)
吉田 (昭和222年卒)
吉田 (昭和223年卒)
吉田 (昭和224年卒)
吉田 (昭和225年卒)
吉田 (昭和226年卒)
吉田 (昭和227年卒)
吉田 (昭和228年卒)
吉田 (昭和229年卒)
吉田 (昭和230年卒)
吉田 (昭和231年卒)
吉田 (昭和232年卒)
吉田 (昭和233年卒)
吉田 (昭和234年卒)
吉田 (昭和235年卒)
吉田 (昭和236年卒)
吉田 (昭和237年卒)
吉田 (昭和238年卒)
吉田 (昭和239年卒)
吉田 (昭和240年卒)
吉田 (昭和241年卒)
吉田 (昭和242年卒)
吉田 (昭和243年卒)
吉田 (昭和244年卒)
吉田 (昭和245年卒)
吉田 (昭和246年卒)
吉田 (昭和247年卒)
吉田 (昭和248年卒)
吉田 (昭和249年卒)
吉田 (昭和250年卒)
吉田 (昭和251年卒)
吉田 (昭和252年卒)
吉田 (昭和253年卒)
吉田 (昭和254年卒)
吉田 (昭和255年卒)
吉田 (昭和256年卒)
吉田 (昭和257年卒)
吉田 (昭和258年卒)
吉田 (昭和259年卒)
吉田 (昭和260年卒)
吉田 (昭和261年卒)
吉田 (昭和262年卒)
吉田 (昭和263年卒)
吉田 (昭和264年卒)
吉田 (昭和265年卒)
吉田 (昭和266年卒)
吉田 (昭和267年卒)
吉田 (昭和268年卒)
吉田 (昭和269年卒)
吉田 (昭和270年卒)
吉田 (昭和271年卒)
吉田 (昭和272年卒)
吉田 (昭和273年卒)
吉田 (昭和274年卒)
吉田 (昭和275年卒)
吉田 (昭和276年卒)
吉田 (昭和277年卒)
吉田 (昭和278年卒)
吉田 (昭和279年卒)
吉田 (昭和280年卒)
吉田 (昭和281年卒)
吉田 (昭和282年卒)
吉田 (昭和283年卒)
吉田 (昭和284年卒)
吉田 (昭和285年卒)
吉田 (昭和286年卒)
吉田 (昭和287年卒)
吉田 (昭和288年卒)
吉田 (昭和289年卒)
吉田 (昭和290年卒)
吉田 (昭和291年卒)
吉田 (昭和292年卒)
吉田 (昭和293年卒)
吉田 (昭和294年卒)
吉田 (昭和295年卒)
吉田 (昭和296年卒)
吉田 (昭和297年卒)
吉田 (昭和298年卒)
吉田 (昭和299年卒)
吉田 (昭和300年卒)
吉田 (昭和301年卒)
吉田 (昭和302年卒)
吉田 (昭和303年卒)
吉田 (昭和304年卒)
吉田 (昭和305年卒)
吉田 (昭和306年卒)
吉田 (昭和307年卒)
吉田 (昭和308年卒)
吉田 (昭和309年卒)
吉田 (昭和310年卒)
吉田 (昭和311年卒)
吉田 (昭和312年卒)
吉田 (昭和313年卒)
吉田 (昭和314年卒)
吉田 (昭和315年卒)
吉田 (昭和316年卒)
吉田 (昭和317年卒)
吉田 (昭和318年卒)
吉田 (昭和319年卒)
吉田 (昭和320年卒)
吉田 (昭和321年卒)
吉田 (昭和322年卒)
吉田 (昭和323年卒)
吉田 (昭和324年卒)
吉田 (昭和325年卒)
吉田 (昭和326年卒)
吉田 (昭和327年卒)
吉田 (昭和328年卒)
吉田 (昭和329年卒)
吉田 (昭和330年卒)
吉田 (昭和331年卒)
吉田 (昭和332年卒)
吉田 (昭和333年卒)
吉田 (昭和334年卒)
吉田 (昭和335年卒)
吉田 (昭和336年卒)
吉田 (昭和337年卒)
吉田 (昭和338年卒)
吉田 (昭和339年卒)
吉田 (昭和340年卒)
吉田 (昭和341年卒)
吉田 (昭和342年卒)
吉田 (昭和343年卒)
吉田 (昭和344年卒)
吉田 (昭和345年卒)
吉田 (昭和346年卒)
吉田 (昭和347年卒)
吉田 (昭和348年卒)
吉田 (昭和349年卒)
吉田 (昭和350年卒)
吉田 (昭和351年卒)
吉田 (昭和352年卒)
吉田 (昭和353年卒)
吉田 (昭和354年卒)
吉田 (昭和355年卒)
吉田 (昭和356年卒)
吉田 (昭和357年卒)
吉田 (昭和358年卒)
吉田 (昭和359年卒)
吉田 (昭和360年卒)
吉田 (昭和361年卒)
吉田 (昭和362年卒)
吉田 (昭和363年卒)
吉田 (昭和364年卒)
吉田 (昭和365年卒)
吉田 (昭和366年卒)
吉田 (昭和367年卒)
吉田 (昭和368年卒)
吉田 (昭和369年卒)
吉田 (昭和370年卒)
吉田 (昭和371年卒)
吉田 (昭和372年卒)
吉田 (昭和373年卒)
吉田 (昭和374年卒)
吉田 (昭和375年卒)
吉田 (昭和376年卒)
吉田 (昭和377年卒)
吉田 (昭和378年卒)
吉田 (昭和379年卒)
吉田 (昭和380年卒)
吉田 (昭和381年卒)
吉田 (昭和382年卒)
吉田 (昭和383年卒)
吉田 (昭和384年卒)
吉田 (昭和385年卒)
吉田 (昭和386年卒)
吉田 (昭和387年卒)
吉田 (昭和388年卒)
吉田 (昭和389年卒)
吉田 (昭和390年卒)
吉田 (昭和391年卒)
吉田 (昭和392年卒)
吉田 (昭和393年卒)
吉田 (昭和394年卒)
吉田 (昭和395年卒)
吉田 (昭和396年卒)
吉田 (昭和397年卒)
吉田 (昭和398年卒)
吉田 (昭和399年卒)
吉田 (昭和400年卒)
吉田 (昭和401年卒)
吉田 (昭和402年卒)
吉田 (昭和403年卒)
吉田 (昭和404年卒)
吉田 (昭和405年卒)
吉田 (昭和406年卒)
吉田 (昭和407年卒)
吉田 (昭和408年卒)
吉田 (昭和409年卒)
吉田 (昭和410年卒)
吉田 (昭和411年卒)
吉田 (昭和412年卒)
吉田 (昭和413年卒)
吉田 (昭和414年卒)
吉田 (昭和415年卒)
吉田 (昭和416年卒)
吉田 (昭和417年卒)
吉田 (昭和418年卒)
吉田 (昭和419年卒)
吉田 (昭和420年卒)
吉田 (昭和421年卒)
吉田 (昭和422年卒)
吉田 (昭和423年卒)
吉田 (昭和424年卒)
吉田 (昭和425年卒)
吉田 (昭和426年卒)
吉田 (昭和427年卒)
吉田 (昭和428年卒)
吉田 (昭和429年卒)
吉田 (昭和430年卒)
吉田 (昭和431年卒)
吉田 (昭和432年卒)
吉田 (昭和433年卒)
吉田 (昭和434年卒)
吉田 (昭和435年卒)
吉田 (昭和436年卒)
吉田 (昭和437年卒)
吉田 (昭和438年卒)
吉田 (昭和439年卒)
吉田 (昭和440年卒)
吉田 (昭和441年卒)
吉田 (昭和442年卒)
吉田 (昭和443年卒)
吉田 (昭和444年卒)
吉田 (昭和445年卒)
吉田 (昭和446年卒)
吉田 (昭和447年卒)
吉田 (昭和448年卒)
吉田 (昭和449年卒)
吉田 (昭和450年卒)
吉田 (昭和451年卒)
吉田 (昭和452年卒)
吉田 (昭和453年卒)
吉田 (昭和454年卒)
吉田 (昭和455年卒)
吉田 (昭和456年卒)
吉田 (昭和457年卒)
吉田 (昭和458年卒)
吉田 (昭和459年卒)
吉田 (昭和460年卒)
吉田 (昭和461年卒)
吉田 (昭和462年卒)
吉田 (昭和463年卒)
吉田 (昭和464年卒)
吉田 (昭和465年卒)
吉田 (昭和466年卒)
吉田 (昭和467年卒)
吉田 (昭和468年卒)
吉田 (昭和469年卒)
吉田 (昭和470年卒)
吉田 (昭和471年卒)
吉田 (昭和472年卒)
吉田 (昭和473年卒)
吉田 (昭和474年卒)
吉田 (昭和475年卒)
吉田 (昭和476年卒)
吉田 (昭和477年卒)
吉田 (昭和478年卒)
吉田 (昭和479年卒)
吉田 (昭和480年卒)
吉田 (昭和481年卒)
吉田 (昭和482年卒)
吉田 (昭和483年卒)
吉田 (昭和484年卒)
吉田 (昭和485年卒)
吉田 (昭和486年卒)
吉田 (昭和487年卒)
吉田 (昭和488年卒)
吉田 (昭和489年卒)
吉田 (昭和490年卒)
吉田 (昭和491年卒)
吉田 (昭和492年卒)
吉田 (昭和493年卒)
吉田 (昭和494年卒)
吉田 (昭和495年卒)
吉田 (昭和496年卒)
吉田 (昭和497年卒)
吉田 (昭和498年卒)
吉田 (昭和499年卒)
吉田 (昭和500年卒)

慰靈碑管理基金のご協力お願い

平成28年4月1日以降平成29年3月31日までの受付分27名、金161,000円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、吉田各氏の芳名を掲げ厚く御礼申し上げます。

世界遺産の地、高野山に学園創立100周年を記念し、故田貞夫第五代同窓会会長を中心となり建立した、学園関係物故者の慰靈碑があります。昨年は10年目の記念をささやかな形で行い、今年は11年目となります。毎年宿泊させて頂く普賢院は、高野山真言宗金剛峰寺第406世座主の故森寛總院長猊下(成器商業2部7期・大正9年卒)の寺院です。同窓会が発足した昭和49年当初、故伊丹啓次初代会長の時代から利用させて頂いておりました。そして、この慰靈碑は普賢院の管理地に建つており、それを維持管理する為には、会員各位のご協力が必要です。

さて、表題の管理基金の募金を昨年もお願い致しました所、多数の方々からご寄付を頂きました。その内、高額寄付(10万円以上)を頂いた方々は昨年同様、「芳名榜石」にお名前を刻銘させて頂きました。以前に建立基金の募金として、10万円未満のご

寄付を頂いた方には、10万円に達する様に
管理基金として追加のご寄付を頂き、累計

(合計)で10万円に達しましたら、その都度お名前を入れさせていただきます。毎年少額だけど少しずつご寄付をしておられる

方で、こちらでも点検しておりますが、すでに10万円に達しておられる方は、同窓会事務局にご連絡下さい。寄付金台帳を確認の上で、達しておられましたら必ずお名前を刻銘させて頂きます。何卒会員皆様方のご協力ご理解を切にお願い申し上げます。

募金方法

- ① 一口一万円口数制限なしで(ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで)お受け致します。
- ② お振込は下記に記載の通りです。

慰靈碑管理基金

寄付者ご芳名録

年会費・募金・慰靈碑管理基金

お申し込み方法

あとがき

会報発行後早や二十一年目を迎え、お陰様で

関係各会の協力により平成十九年度会報二十一号を皆様にお届けする事が出来ました。

既に、本校創立百十四年を迎える大阪学

芸が、更なる永続発展を続けるために教育

内容の向上と環境整備を積極的に推進し、

質の高い内容と支える良好な教育環境が両輪のごとく発展を続ける事が大切だと考

えます。今後、学園を挙げて一層の魅力溢れ

る理想の教育に期待する次第であります。

最後になりましたが、ご寄稿頂きました

皆様方並びに広告掲載をご協力頂きました

方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康をご多幸を心か

らお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさ

せて頂きます。

副会長 田中 敏文

事務局

お願い

同窓会では、同窓会行事の案内、各行事の写真、年1回発行している同窓会会報誌「学芸」をご覧になれる、ホームページを開設しております。ぜひ一度ご覧ください。

また、Facebookのページも開設しております。

こちらもぜひご覧ください。たくさんのご訪問お待ちしております。

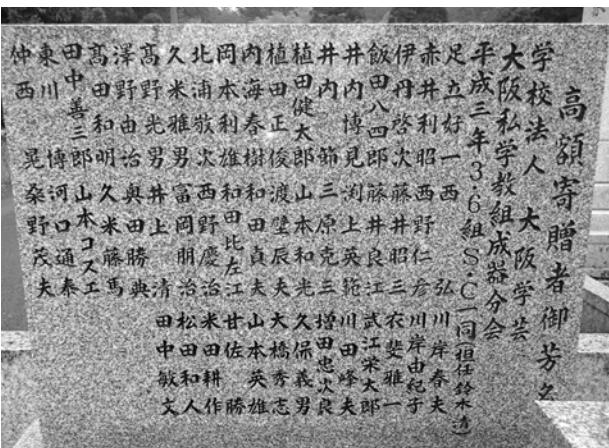
同窓会ホームページアドレス:

<http://gakugei-seikikai.jp/>

同窓会Facebookアドレス:

<https://www.facebook.com/GakugeiSeikikai>

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

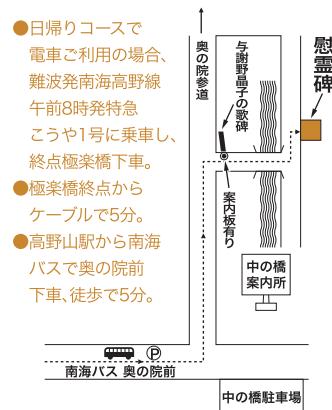


御芳名標石



慰靈碑

ご案内図



- 日帰りコースで電車ご利用の場合、難波発南海高野線午前8時発特急こうや1号に乗車し、終点極楽橋下車。
- 極楽橋終点からケーブルで5分。
- 高野山駅から南海バスで奥の院前下車、徒歩で5分。

沼芦中嶽菊川上武森
田阪野地中野江島
寅栄

伸孝耕信太郎夫
明二雄名作行
(昭和26年卒)
(昭和36年卒)
(昭和37年卒)
(昭和43年卒)
(昭和46年卒)
(昭和47年卒)
(昭和51年卒)
(昭和53年卒)
(昭和55年卒)
(昭和56年卒)
(昭和57年卒)
(昭和58年卒)
(昭和59年卒)
(昭和60年卒)
(昭和61年卒)
(昭和62年卒)
(昭和63年卒)
(昭和64年卒)
(昭和65年卒)
(昭和66年卒)
(昭和67年卒)
(昭和68年卒)
(昭和69年卒)
(昭和70年卒)
(昭和71年卒)
(昭和72年卒)
(昭和73年卒)
(昭和74年卒)
(昭和75年卒)
(昭和76年卒)
(昭和77年卒)
(昭和78年卒)
(昭和79年卒)
(昭和80年卒)
(昭和81年卒)
(昭和82年卒)
(昭和83年卒)
(昭和84年卒)
(昭和85年卒)
(昭和86年卒)
(昭和87年卒)
(昭和88年卒)
(昭和89年卒)
(昭和90年卒)
(昭和91年卒)
(昭和92年卒)
(昭和93年卒)
(昭和94年卒)
(昭和95年卒)
(昭和96年卒)
(昭和97年卒)
(昭和98年卒)
(昭和99年卒)
(昭和100年卒)
(昭和101年卒)
(昭和102年卒)
(昭和103年卒)
(昭和104年卒)
(昭和105年卒)
(昭和106年卒)
(昭和107年卒)
(昭和108年卒)
(昭和109年卒)
(昭和110年卒)
(昭和111年卒)
(昭和112年卒)
(昭和113年卒)
(昭和114年卒)
(昭和115年卒)
(昭和116年卒)
(昭和117年卒)
(昭和118年卒)
(昭和119年卒)
(昭和120年卒)
(昭和121年卒)
(昭和122年卒)
(昭和123年卒)
(昭和124年卒)
(昭和125年卒)
(昭和126年卒)
(昭和127年卒)
(昭和128年卒)
(昭和129年卒)
(昭和130年卒)
(昭和131年卒)
(昭和132年卒)
(昭和133年卒)
(昭和134年卒)
(昭和135年卒)
(昭和136年卒)
(昭和137年卒)
(昭和138年卒)
(昭和139年卒)
(昭和140年卒)
(昭和141年卒)
(昭和142年卒)
(昭和143年卒)
(昭和144年卒)
(昭和145年卒)
(昭和146年卒)
(昭和147年卒)
(昭和148年卒)
(昭和149年卒)
(昭和150年卒)
(昭和151年卒)
(昭和152年卒)
(昭和153年卒)
(昭和154年卒)
(昭和155年卒)
(昭和156年卒)
(昭和157年卒)
(昭和158年卒)
(昭和159年卒)
(昭和160年卒)
(昭和161年卒)
(昭和162年卒)
(昭和163年卒)
(昭和164年卒)
(昭和165年卒)
(昭和166年卒)
(昭和167年卒)
(昭和168年卒)
(昭和169年卒)
(昭和170年卒)
(昭和171年卒)
(昭和172年卒)
(昭和173年卒)
(昭和174年卒)
(昭和175年卒)
(昭和176年卒)
(昭和177年卒)
(昭和178年卒)
(昭和179年卒)
(昭和180年卒)
(昭和181年卒)
(昭和182年卒)
(昭和183年卒)
(昭和184年卒)
(昭和185年卒)
(昭和186年卒)
(昭和187年卒)
(昭和188年卒)
(昭和189年卒)
(昭和190年卒)
(昭和191年卒)
(昭和192年卒)
(昭和193年卒)
(昭和194年卒)
(昭和195年卒)
(昭和196年卒)
(昭和197年卒)
(昭和198年卒)
(昭和199年卒)
(昭和200年卒)
(昭和201年卒)
(昭和202年卒)
(昭和203年卒)
(昭和204年卒)
(昭和205年卒)
(昭和206年卒)
(昭和207年卒)
(昭和208年卒)
(昭和209年卒)
(昭和210年卒)
(昭和211年卒)
(昭和212年卒)
(昭和213年卒)
(昭和214年卒)
(昭和215年卒)
(昭和216年卒)
(昭和217年卒)
(昭和218年卒)
(昭和219年卒)
(昭和220年卒)
(昭和221年卒)
(昭和222年卒)
(昭和223年卒)
(昭和224年卒)
(昭和225年卒)
(昭和226年卒)
(昭和227年卒)
(昭和228年卒)
(昭和229年卒)
(昭和230年卒)
(昭和231年卒)
(昭和232年卒)
(昭和233年卒)
(昭和234年卒)
(昭和235年卒)
(昭和236年卒)
(昭和237年卒)
(昭和238年卒)
(昭和239年卒)
(昭和240年卒)
(昭和241年卒)
(昭和242年卒)
(昭和243年卒)
(昭和244年卒)
(昭和245年卒)
(昭和246年卒)
(昭和247年卒)
(昭和248年卒)
(昭和249年卒)
(昭和250年卒)
(昭和251年卒)
(昭和252年卒)
(昭和253年卒)
(昭和254年卒)
(昭和255年卒)
(昭和256年卒)
(昭和257年卒)
(昭和258年卒)
(昭和259年卒)
(昭和260年卒)
(昭和261年卒)
(昭和262年卒)
(昭和263年卒)
(昭和264年卒)
(昭和265年卒)
(昭和266年卒)
(昭和267年卒)
(昭和268年卒)
(昭和269年卒)
(昭和270年卒)
(昭和271年卒)
(昭和272年卒)
(昭和273年卒)
(昭和274年卒)
(昭和275年卒)
(昭和276年卒)
(昭和277年卒)
(昭和278年卒)
(昭和279年卒)
(昭和280年卒)
(昭和281年卒)
(昭和282年卒)
(昭和283年卒)
(昭和284年卒)
(昭和285年卒)
(昭和286年卒)
(昭和287年卒)
(昭和288年卒)
(昭和289年卒)
(昭和290年卒)
(昭和291年卒)
(昭和292年卒)
(昭和293年卒)
(昭和294年卒)
(昭和295年卒)
(昭和296年卒)
(昭和297年卒)
(昭和298年卒)
(昭和299年卒)
(昭和300年卒)
(昭和301年卒)
(昭和302年卒)
(昭和303年卒)
(昭和304年卒)
(昭和305年卒)
(昭和306年卒)
(昭和307年卒)
(昭和308年卒)
(昭和309年卒)
(昭和310年卒)
(昭和311年卒)
(昭和312年卒)
(昭和313年卒)
(昭和314年卒)
(昭和315年卒)
(昭和316年卒)
(昭和317年卒)
(昭和318年卒)
(昭和319年卒)
(昭和320年卒)
(昭和321年卒)
(昭和322年卒)
(昭和323年卒)
(昭和324年卒)
(昭和325年卒)
(昭和326年卒)
(昭和327年卒)
(昭和328年卒)
(昭和329年卒)
(昭和330年卒)
(昭和331年卒)
(昭和332年卒)
(昭和333年卒)
(昭和334年卒)
(昭和335年卒)
(昭和336年卒)
(昭和337年卒)
(昭和338年卒)
(昭和339年卒)
(昭和340年卒)
(昭和341年卒)
(昭和342年卒)
(昭和343年卒)
(昭和344年卒)
(昭和345年卒)
(昭和346年卒)
(昭和347年卒)
(昭和348年卒)
(昭和349年卒)
(昭和350年卒)
(昭和351年卒)
(昭和352年卒)
(昭和353年卒)
(昭和354年卒)
(昭和355年卒)
(昭和356年卒)
(昭和357年卒)
(昭和358年卒)
(昭和359年卒)
(昭和360年卒)
(昭和361年卒)
(昭和362年卒)
(昭和363年卒)
(昭和364年卒)
(昭和365年卒)
(昭和366年卒)
(昭和367年卒)
(昭和368年卒)
(昭和369年卒)
(昭和370年卒)
(昭和371年卒)
(昭和372年卒)
(昭和373年卒)
(昭和374年卒)
(昭和375年卒)
(昭和376年卒)
(昭和377年卒)
(昭和378年卒)
(昭和379年卒)
(昭和380年卒)
(昭和381年卒)
(昭和382年卒)
(昭和383年卒)
(昭和384年卒)
(昭和385年卒)
(昭和386年卒)
(昭和387年卒)
(昭和388年卒)
(昭和389年卒)
(昭和390年卒)
(昭和391年卒)
(昭和392年卒)
(昭和393年卒)
(昭和394年卒)
(昭和395年卒)
(昭和396年卒)
(昭和397年卒)
(昭和398年卒)
(昭和399年卒)
(昭和400年卒)
(昭和401年卒)
(昭和402年卒)
(昭和403年卒)
(昭和404年卒)
(昭和405年卒)
(昭和406年卒)
(昭和407年卒)
(昭和408年卒)
(昭和409年卒)
(昭和410年卒)
(昭和411年卒)
(昭和412年卒)
(昭和413年卒)
(昭和414年卒)
(昭和415年卒)
(昭和416年卒)
(昭和417年卒)
(昭和418年卒)
(昭和419年卒)
(昭和420年卒)
(昭和421年卒)
(昭和422年卒)
(昭和423年卒)
(昭和424年卒)
(昭和425年卒)
(昭和426年卒)
(昭和427年卒)
(昭和428年卒)
(昭和429年卒)
(昭和430年卒)
(昭和431年卒)
(昭和432年卒)
(昭和433年卒)
(昭和434年卒)
(昭和435年卒)
(昭和436年卒)
(昭和437年卒)
(昭和438年卒)
(昭和439年卒)
(昭和440年卒)
(昭和441年卒)
(昭和442年卒)
(昭和443年卒)
(昭和444年卒)
(昭和445年卒)
(昭和446年卒)
(昭和447年卒)
(昭和448年卒)
(昭和449年卒)
(昭和450年卒)
(昭和451年卒)
(昭和452年卒)
(昭和453年卒)
(昭和454年卒)
(昭和455年卒)
(昭和456年卒)
(昭和457年卒)
(昭和458年卒)
(昭和459年卒)
(昭和460年卒)
(昭和461年卒)
(昭和462年卒)
(昭和463年卒)
(昭和464年卒)
(昭和465年卒)
(昭和466年卒)
(昭和467年卒)
(昭和468年卒)
(昭和469年卒)
(昭和470年卒)
(昭和471年卒)
(昭和472年卒)
(昭和473年卒)
(昭和474年卒)
(昭和475年卒)
(昭和476年卒)
(昭和477年卒)
(昭和478年卒)
(昭和479年卒)
(昭和480年卒)
(昭和481年卒)
(昭和482年卒)
(昭和483年卒)
(昭和484年卒)
(昭和485年卒)
(昭和486年卒)
(昭和487年卒)
(昭和488年卒)
(昭和489年卒)
(昭和490年卒)
(昭和491年卒)
(昭和492年卒)
(昭和493年卒)
(昭和494年卒)
(昭和495年卒)
(昭和496年卒)
(昭和497年卒)
(昭和498年卒)
(昭和499年卒)
(昭和500年卒)
(昭和501年卒)
(昭和502年卒)
(昭和503年卒)
(昭和504年卒)
(昭和505年卒)
(昭和506年卒)
(昭和507年卒)
(昭和508年卒)
(昭和509年卒)
(昭和510年卒)
(昭和511年卒)
(昭和512年卒)
(昭和513年卒)
(昭和514年卒)
(昭和515年卒)
(昭和516年卒)
(昭和517年卒)
(昭和518年卒)
(昭和519年卒)
(昭和520年卒)
(昭和521年卒)
(昭和522年卒)
(昭和523年卒)
(昭和524年卒)
(昭和525年卒)
(昭和526年卒)
(昭和527年卒)
(昭和528年卒)
(昭和529年卒)
(昭和530年卒)
(昭和531年卒)
(昭和532年卒)
(昭和533年卒)
(昭和534年卒)
(昭和535年卒)
(昭和536年卒)
(昭和537年卒)
(昭和538年卒)
(昭和539年卒)
(昭和540年卒)
(昭和541年卒)
(昭和542年卒)
(昭和543年卒)
(昭和544年卒)
(昭和545年卒)
(昭和546年卒)
(昭和547年卒)
(昭和548年卒)
(昭和549年卒)
(昭和550年卒)
(昭和551年卒)
(昭和552年卒)
(昭和553年卒)
(昭和554年卒)
(昭和555年卒)
(昭和556年卒)
(昭和557年卒)
(昭和558年卒)
(昭和559年卒)
(昭和560年卒)
(昭和561年卒)
(昭和562年卒)
(昭和563年卒)
(昭和564年卒)
(昭和565年卒)
(昭和566年卒)
(昭和567年卒)
(昭和568年卒)
(昭和569年卒)
(昭和570年卒)
(昭和571年卒)
(昭和572年卒)
(昭和573年卒)
(昭和574年卒)
(昭和575年卒)
(昭和576年卒)
(昭和577年卒)
(昭和578年卒)
(昭和579年卒)
(昭和580年卒)
(昭和581年卒)
(昭和582年卒)
(昭和583年卒)
(昭和584年卒)
(昭和585年卒)
(昭和586年卒)
(昭和587年卒)
(昭和588年卒)
(昭和589年卒)
(昭和590年卒)
(昭和591年卒)
(昭和592年卒)
(昭和593年卒)
(昭和594年卒)
(昭和595年卒)
(昭和596年卒)
(昭和597年卒)
(昭和598年卒)
(昭和599年卒)
(昭和600年卒)
(昭和601年卒)
(昭和602年卒)
(昭和603年卒)
(昭和604年卒)
(昭和605年卒)
(昭和606年卒)
(昭和607年卒)
(昭和608年卒)
(昭和609年卒)
(昭和610年卒)
(昭和611年卒)
(昭和612年卒)
(昭和613年卒)
(昭和614年卒)
(昭和615年卒)
(昭和616年卒)
(昭和617年卒)
(昭和618年卒)
(昭和619年卒)
(昭和620年卒)
(昭和621年卒)
(昭和622年卒)
(昭和623年卒)
(昭和624年卒)
(昭和625年卒)
(昭和626年卒)
(昭和627年卒)
(昭和628年卒)
(昭和629年卒)
(昭和630年卒)
(昭和631年卒)
(昭和632年卒)
(昭和633年卒)
(昭和634年卒)
(昭和635年卒)
(昭和636年卒)
(昭和637年卒)
(昭和638年卒)
(昭和639年卒)
(昭和640年卒)
(昭和641年卒)
(昭和642年卒)
(昭和643年卒)
(昭和644年卒)
(昭和645年卒)
(昭和646年卒)
(昭和647年卒)
(昭和648年卒)
(昭和649年卒)
(昭和650年卒)
(昭和651年卒)
(昭和652年卒)
(昭和653年卒)
(昭和654年卒)
(昭和655年卒)
(昭和656年卒)
(昭和657年卒)
(昭和658年卒)
(昭和659年卒)
(昭和660年卒)
(昭和661年卒)
(昭和662年卒)
(昭和663年卒)
(昭和664年卒)
(昭和665年卒)
(昭和666年卒)
(昭和667年卒)
(昭和668年卒)
(昭和669年卒)
(昭和670年卒)
(昭和671年卒)
(昭和672年卒)
(昭和673年卒)
(昭和674年卒)
(昭和675年卒)
(昭和676年卒)
(昭和677年卒)
(昭和678年卒)
(昭和679年卒)
(昭和680年卒)
(昭和681年卒)
(昭和682年卒)
(昭和683年卒)
(昭和684年卒)
(昭和685年卒)
(昭和686年卒)
(昭和687年卒)
(昭和688年卒)
(昭和689年卒)
(昭和690年卒)
(昭和691年卒)
(昭和692年卒)
(昭和693年卒)
(昭和694年卒)
(昭和695年卒)
(昭和696年卒)
(昭和697年卒)
(昭和698年卒)
(昭和699年卒)
(昭和700年卒)
(昭和701年卒)
(昭和702年卒)
(昭和703年卒)
(昭和704年卒)
(昭和705年卒)
(昭和706年卒)
(昭和707年卒)
(昭和708年卒)
(昭和709年卒)
(昭和710年卒)
(昭和711年卒)
(昭和712年卒)
(昭和713年卒)
(昭和714年卒)
(昭和715年卒)
(昭和716年卒)
(昭和717年卒)
(昭和718年卒)
(昭和719年卒)
(昭和720年卒)
(昭和721年卒)
(昭和722年卒)
(昭和723年卒)
(昭和724年卒)
(昭和725年卒)
(昭和726年卒)
(昭和727年卒)
(昭和728年卒)
(昭和729年卒)
(昭和730年卒)
(昭和731年卒)
(昭和732年卒)
(昭和733年卒)
(昭和734年卒)
(昭和735年卒)
(昭和736年卒)
(昭和737年卒)
(昭和738年卒)
(昭和739年卒)
(昭和740年卒)
(昭和741年卒)
(昭和742年卒)
(昭和743年卒)
(昭和744年卒)
(昭和745年卒)
(昭和746年卒)
(昭和747年卒)
(昭和748年卒)
(昭和749年卒)
(昭和750年卒)
(昭和751年卒)
(昭和752年卒)
(昭和753年卒)
(昭和754年卒)
(昭和755年卒)
(昭和756年卒)
(昭和757年卒)
(昭和758年卒)
(昭和759年卒)
(昭和760年卒)
(昭和761年卒)
(昭和762年卒)
(昭和763年卒)
(昭和764年卒)
(昭和765年卒)
(昭和766年卒)
(昭和767年卒)
(昭和768年卒)
(昭和769年卒)
(昭和770年卒)
(昭和771年卒)
(昭和772年卒)
(昭和773年卒)
(昭和774年卒)
(昭和775年卒)
(昭和776年卒)
(昭和777年卒)
(昭和778年卒)
(昭和779年卒)
(昭和780年卒)
(昭和781年卒)
(昭和782年卒)
(昭和783年卒)
(昭和784年卒)
(昭和785年卒)
(昭和786年卒)
(昭和787年卒)
(昭和788年卒)
(昭和789年卒)
(昭和790年卒)
(昭和791年卒)
(昭和792年卒)
(昭和793年卒)
(昭和794年卒)
(昭和795年卒)
(昭和796年卒)
(昭和797年卒)
(昭和798年卒)
(昭和799年卒)
(昭和800年卒)
(昭和801年卒)
(昭和802年卒)
(昭和803年卒)
(昭和804年卒)
(昭和805年卒)
(昭和806年卒)
(昭和807年卒)
(昭和808年卒)
(昭和809年卒)
(昭和810年卒)
(昭和811年卒)
(昭和812年卒)
(昭和813年卒)
(昭和814年卒)
(昭和815年卒)
(昭和816年卒)
(昭和817年卒)
(昭和818年卒)
(昭和819年卒)
(昭和820年卒)
(昭和821年卒)
(昭和822年卒)
(昭和823年卒)
(昭和824年卒)
(昭和825年卒)
(昭和826年卒)
(昭和827年卒)
(昭和828年卒)
(昭和829年卒)
(昭和830年卒)
(昭和831年卒)
(昭和832年卒)
(昭和833年卒)
(昭和834年卒)
(昭和835年卒)
(昭和836年卒)
(昭和837年卒)
(昭和838年卒)
(昭和839年卒)
(昭和840年卒)
(昭和841年卒)
(昭和842年卒)
(昭和843年卒)
(昭和844年卒)
(昭和845年卒)
(昭和846年卒)
(昭和847年卒)
(昭和848年卒)
(昭和849年卒)
(昭和850年卒)
(昭和851年卒)
(昭和852年卒)
(昭和853年卒)
(昭和854年卒)
(昭和855年卒)
(昭和856年卒)
(昭和857年卒)
(昭和858年卒)
(昭和859年卒)
(昭和860年卒)
(昭和861年卒)
(昭和862年卒)
(昭和863年卒)
(昭和864年卒)
(昭和865年卒)
(昭和866年卒)
(昭和867年卒)
(昭和868年卒)
(昭和869年卒)
(昭和870年卒)
(昭和871年卒)
(昭和872年卒)
(昭和873年卒)
(昭和874年卒)
(昭和875年卒)
(昭和876年卒)
(昭和877

平成29年度の行事予定・定期総会及び懇親会を左記の通りご案内申し上げます。つきましては、同窓会のお知り合いお誘い合わせの上、多数ご出席を頂けます様お願い申し上げます。

平成29年度行事予定・30年総会及び懇親会のご案内

● 高野山普賢院一泊と学園慰靈碑参拝及び野迫川温泉旅行

日 時 平成29年8月5日(土)～6日(日)
スケジュール

一泊コース

5日(土)の午後5時迄に高野山・普賢院に集合する。
普賢院で宿泊し翌日(6日)奥之院 学園慰靈碑を参拝
後 野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。
6日(日)南海高野線・難波午前8時00分発こうや1号
に乗車し高野山の学園慰靈碑前に午前10時10分に集合
する(慰靈碑前で一泊組と合流する)
学園慰靈碑参拝後、野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。

会 費 一泊コース15,000円

日帰りコース5,000円

注意

参加希望者は予約が必要ですので、必ず2週間前迄に同窓会まで
お申し出下さい。案内状と参加希望申込書をお送りします。

● 秋季懇親会

(参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)

平成29年11月4日(土)

(場所:ニューミュンヘン大使館)5時～懇親会

● 総会及び懇親会

(参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)

平成30年6月9日(土)

(場所:道頓堀ホテル)4時～総会終了後懇親会

※右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきます
ので卒業期・年度・住所・氏名・TEL・FAX等ご記入の上、

左記の所に葉書にてその旨をお知らせください。

※やむを得ない事情により日程・その他を変更する事がありますので、
参加ご希望の方はその都度役員にお聞きください。

※同窓会ホームページでも案内しておりますので、ご覧下さい。

宛先 〒五五八-〇〇〇三 大阪市住吉区長居一丁目一五

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

TEL 〇六(六六九三)六三〇一
FAX 〇六(六六九三)五一七三

平成28年度 決算報告

単位:円

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入会費	3,275,000	総会(懇親会)費	379,575
年会費	255,000	秋季懇親会費	347,249
寄付金(募金)収入	161,000	学園慰靈碑参拝費	212,076
慰靈碑管理基金収入	137,000	会報「学芸」作成費	838,513
広告収入	120,000	慰靈碑管理費	0
行事協賛金(学園より)	350,000	記念品費	461,397
総会(懇親会)会費	189,000	寄贈費	40,000
秋季懇親会会費	185,500	広告宣伝費	20,000
学園慰靈碑参拝会費	167,000	印刷費	17,280
雑収入	407	通信費	136,118
受取利息	31	会議費	142,125
		旅費交通費	127,000
		慶弔費	16,252
		支払手数料	70,237
		事務用消耗品費	23,992
		雑費	9,570
前年度繰越金	7,702,132	次年度繰越金	9,700,686
合計	12,542,070	合計	12,542,070

上記の通り報告します。

会計 氏田隆夫

会計監査報告

上記の会計決算報告について監査した結果、適正と認めます。

会計監事 大橋秀志
会計監事 川原 実

広告掲載を賜りまして誠にありがとうございます

学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、
今後も広告の掲載にご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

<p> 丸善電機産業株式会社 専務取締役 橋本浩行 (高校(普)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-1133(代) FAX(06)6797-1137 丸善電機(昆山)有限公司 中国江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区天文路20号 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL http://www.magnix.co.jp</p>	<p>仕出し料理専門店 株式会社 彩味 <small>さいみ</small> 取締役会長 平野正治 代表取締役 平野政則 〒559-0002 大阪市住之江区浜口東2-7-14 TEL 06-6675-9251 高校13期 昭和36年卒業</p>	<p>家族葬・法事専門会館 日の出会館 彩味聖天坂店 <small>(阪堺線聖天坂駅前)</small> 〒557-0042 大阪市西成区岸里東1-1-14 TEL 06-6652-4772</p>	<p>仕出し料理専門店 株式会社 日の出庵 取締役会長 平野正治 代表取締役 平野剛 〒551-0013 大阪市大正区小林西2-4-1 TEL 06-6651-3344</p>	<p>昭和39年卒業生 第19回 成器サンキュー会 同窓会 2017年7月22日(土) PM6:00~9:00 於:ナンバ道頓堀ホテル</p>
<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…  協同組合 大阪中小企業経営センター 〒590-0953 堺市堺区甲斐町東4丁1番10号 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei_center@ockc1969.jp URL http://www.ockc1969.jp</p>	<p>ガス & 水道 住之江ガスセンター(有)仲西商店 代表取締役 仲西晃 大阪学芸高等学校同窓会(成器会)名誉会長 (学校法人大阪学芸顧問・高校8期・昭和31年卒業) ガスふろ給湯器・ガス器具全般・ガス工事 水洗トイレ器具全般・洗面化粧台・水道工事 システムキッチン&バス・リフォーム工事 〒558-0033 大阪市住吉区清水丘2-32-25 電話06-6672-4126 FAX06-6673-4870</p>	<p>足立硝子株式会社 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 -0006 TEL. 大阪(06)6643-0335 FAX. (06)6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 -0001 TEL. 名古屋(052)506-7505 FAX. (052)506-1633 〒230 神奈川県横浜市鶴見区市場大町1-14 -0025 TEL. 東京(045)834-7317 FAX. (045)834-7818</p>	<p>U R L http://www.adachiglass.co.jp E-mail adachi@adachiglass.co.jp</p>	
<p>年金・労務などの御相談は 社会保険労務士 藤井昭三 [元大阪府議会議員 2部 昭和20年卒業 成器会顧問] 〒572-0005 寝屋川市成田西町16-2 TEL 072-833-8585 FAX 072-833-8586</p>	<p> 有限会社 朝日プランニング 代表取締役 衣斐雅一 (高校27期・昭和50年卒業) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通2-8-9 TEL(06)6655-6774 FAX(06)6655-6775 asahi0829@clock.ocn.ne.jp</p>	<p>特別養護老人ホーム「阿宇の社」 (平成30年9月頃オープン予定) 社会福祉法人天下茶屋聖天福祉会 理事長 辻見覚彦 昭和60年度卒業(普通科) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通3丁目2番32号 TEL 06-6651-2727(仮)</p>	<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い 食品衛生管理でお困りの方 ご一報下さい。</p>	<p>西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail nishino-paiipu@mbi.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>
<p>株式会社 松本建材 松本 静夫 (昭和35年卒業) 〒558-0011 大阪市住吉区苅田8-12-22 電話 06-6698-7989</p>	<p>美術印刷・Web制作 企画・提案・製作 株式会社 ヒラックス 代表取締役 上野寅次郎 (成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業) 〒581-0012 大阪府八尾市小阪合町1-2-15 TEL(072)929-8739 FAX(072)929-8737 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>	<p>紙製貼り箱 企画・製造 島屋紙器工業所 代表 英 康夫 昭和39年卒 www.shimayashiki.com 島屋紙器工業所 検索</p>		
<p> ガンバロー!! 大阪学芸高等学校附属中学校 大阪学芸高等学校</p>	<p>※表紙絵及びイラスト 作家プロフィール はら たくみ(原 琢三) イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員 各界で活躍中</p>	<p>※表紙のイラストと漫画は故和田真夫先生を描きました。 1925年(大正14年)1月に和泉市平井町で生誕され、成器商業学校卒業後労働運動の道を歩み、大阪府職員労働組合書記長になる。その後政治活動に転身し、大阪府議会議員当選3期、衆議院選挙に出馬4勝4敗で約13年間国政に参加。 2001年(平成13年)大阪学芸高校(旧成器)同窓会5代会長に就任。2010年(平成22年)名誉会長に就任。 2016年(平成28年)12月18日永眠、92歳。</p>		